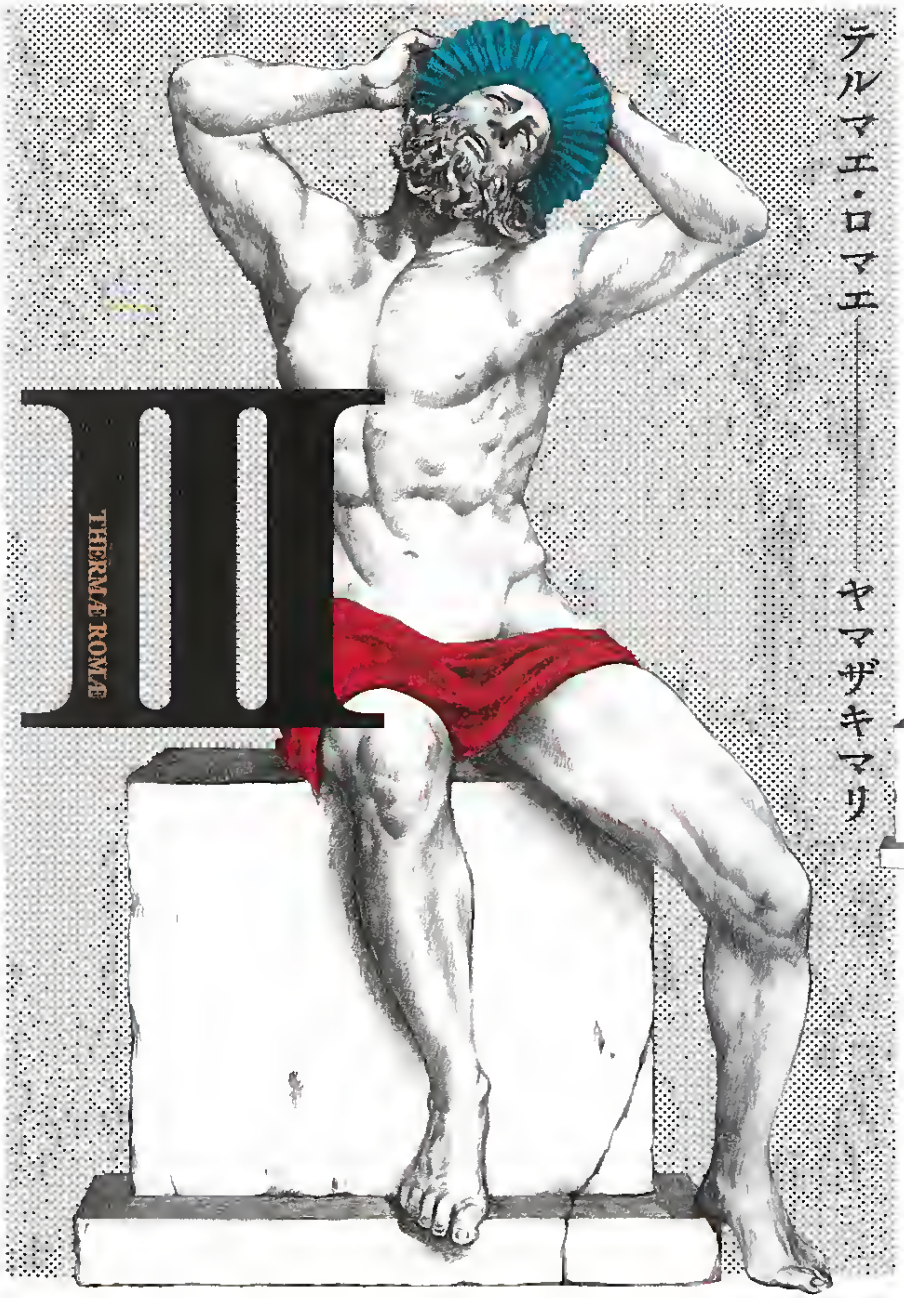


テルマエ・ロマエ

ヤマザキマリ

BEAM COMIX

テルマエ・ロマエ Ⅲ

ヤマザキマリ

9784047272323

ISBN978-4-04-727232-3

C0979 ¥680E

定価：本体680円＋税

発行：エンターブレイン

1920979006805

THERMÆ ROMÆ Ⅲ

Mari Yamazaki

BEAM COMIX

テルマエ・ロマエ Ⅲ

THERMÆ ROMÆ Ⅲ
Mari Yamazaki

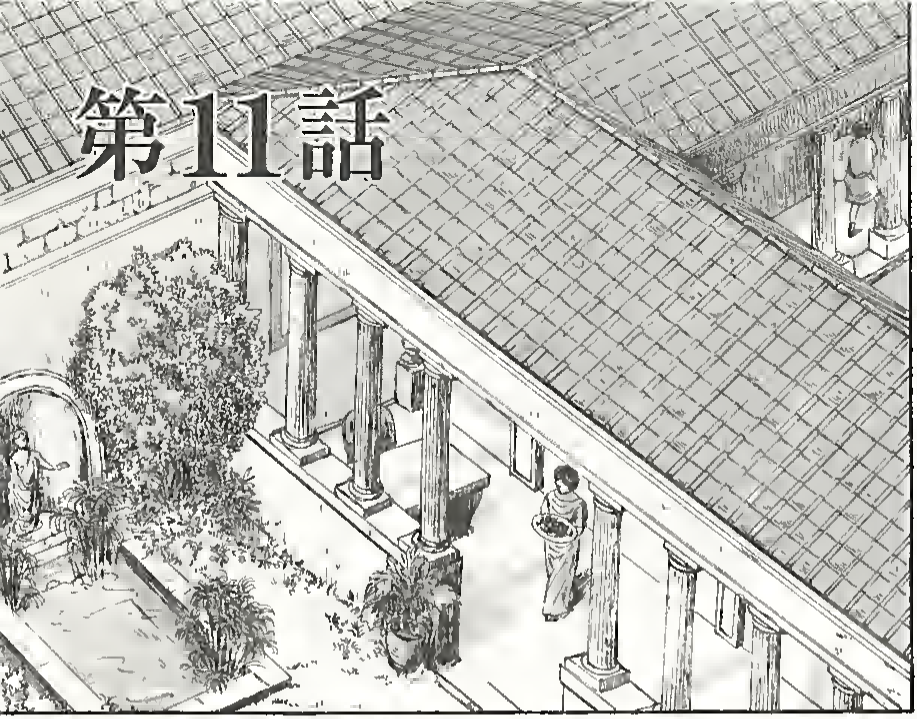
ヤマザキマリ

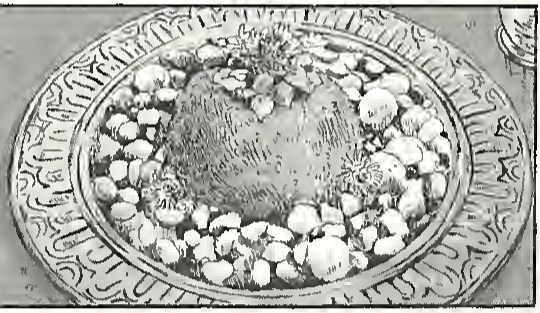
テルマエ・ロマエ　ヤマザキマリ

目次

第11話……3
第12話……27
第13話……51
第14話……83
第15話……113
第16話……137
第17話……161
ローマ&風呂、わが愛
78，110，186

第11話





元老院の意見なんてあって無きに等しきもの…
皇帝の決定を是正するだけが今の我々の役目とは…
何もかも納得がいかぬ…
……

アエリウス・カエサル……あんなのが本当に次期の皇帝になったらローマはお終いだ!!
あいつを選ぶくらいならネロ帝の方が何倍マシかって話さ…

…しかしあの男ローマ市民にはそこそこ人気はあると聞いているが…
ハッ どうせハドリアヌスが後ろでいろいろと操作しているんだろう
皇帝としての風格がみじんも無いあいつが支持されるなんてあり得ん!!

……
お待たせいたしました
ウニの塩漬けでございます
来るのが遅いぞ!!
ワインが空になってしまったではないか!
申し訳ございません…新しいのをすぐお持ちします

おおっ…これはなんと!!
今朝オスティアの港から運ばせたばかりのものだ
これに特製のガルムをかけて……
さあセルギアヌス殿新鮮なうちに…

……
私はここに宴のために参ったのではありませんぞアッティリアヌス殿!

※ハドリアヌス帝は就任時に反対派を粛清し、元老院との関係も緊張状態が続いていた。

風呂!?
そう
浴場です!
最近ローマでは
アエリウス・カエサル
名義で
浴場に関する様々な
展開が見られます
市民にとって
大切な浴場を
繁栄させて
いるのだから
アエリウスの
人気も当然かと…
その「人気」の裏で
動いてる人物を
消してしまえばいい
のではないかと…
!ほう…
そんな人物が
おるのかね…
名はルシウス・
クイントゥス・
モデストゥス…
ハドリアヌス
お抱えの
浴場技師
ですよ…
あの男が
ハドリアヌスや
アエリウスと
繋がっている限り
……
市民の軟弱化は
進み続けるに
違いありません…
まずは
あの男の存在を
消して
市民に正気を
取り戻させる
べきです!
…根本
治療という
わけか…

…して
その策は？

誰にも
怪しまれぬ
方法を考えて
おります…

皇帝がまた
何か新しいことを
やり出す前に

私たちの
「理想のローマ」を
取り戻しましょう！

ルシウス宅

お前 いいかげん
新しいヨメさん
もらえってー

悪いこと
言わねえ
からよー

もっしゃ
もっしゃ

私のことよりも自分のことを心配したらどうだマルクス…

オレ？オレはいいのよ!!

オレはホラ娼館のおねえちゃんがいてくれりゃいいの！

女はいろんなのがいてくれた方が飽きないし!!

ガハハハ

……

でも！お前は違う！

こんなに忙しくなってきて家には女手が無いと大変だろう!!

何ならアレだっオレがどっからか探してきてやってもいいぞ!?

どうせオマエは自分からは動かねえんだから！

コンコン

……いや今は遠慮しておくよマルクス！

？

誰だ？こんな時間に…

コン

ソッ…

ルシウス・モデストゥス技師！

元老院からの書状を届けに参った！

…
何だって？
また何か
新しい風呂を
作れってか？

「…これより
早急に
カンパニア州の
内陸へ赴かれたし
ヴェスビオス
火山の裏手
ヴェネヴェントゥム
方面…」

え!?
あんな危険な
所へ行けって!?
そこには
知られざる
温泉鉱脈が
あって…
ご容態の
悪い陛下は
そこに保養地を
お作りになり
たいと…

……
保養地
陛下と
アエリウス様の
為の別荘と
いうことだろう
……
とにかく私は
見に行ってくる

でもオマエ
あの辺って
タチの悪い山賊が
ウヨウヨしてて
誰も
寄り付かねえ
そんな所に
一人で行ったら
命取りに……
陛下のご命令だ
行かねばならぬ!!

ご体調のためともなれば一刻も無駄にできぬ…
…本当に大丈夫なのか？油断してたらブッ殺されるぞ？
心配してもしかたないマルクス！
ずっと音信の途絶えていた陛下からの久々のご依頼だお断りするわけにはいかぬからな！

夕食に招いておきながら申し訳無いのだが…
まあいいよ気にすんな！戸締りはオレがしとくから！
…取りあえずは気をつけて行けよルシウス！

ぱから？
ここからさして
遠くもない場所に
ローマという大都市が
あるなんて…
まるで想像すら
できないこの有様…
あちらこちらに
湯気の様な煙が
立ち昇ってはいるが
この見放された
土地を一人でどうにかするのは
かなり難しいだろう…
すぐにでも作業に
取りかかりたいのは
山々だが…
まずは一旦
引き返すか…

ビシュッ
ヒヒーン
ブルルッ
わっ
矢!?
……
……
お出ましのようだな!!

……
……
……
フ
DD
オレ達を見ても
顔色一つ変えねえなんて
大した度胸だなァ
兄さんよ…

……
金なら
持ってないぞ
金を盗るだけが
山賊の仕事じゃ
ねえ…
こっちは毎日
退屈してんのサ
……

久々の
通行人様だ！
存分に
おもてなしして
差し上げようじゃ
ねえかァえ!!
フハハ
兄貴
こいつの馬
相当イイ馬
ですぜ!!

はァ～？
仕事ォ!?
ガハハ
冗談だろ
こんな場所で
どんな仕事を
するんだヨ
ハハハハ
……

私は皇帝からの
仕事を仰せつかって
ここへ来たのだ!!
貴様らの相手など
している
時間は無い!!

ここに
浴場を作らねば
ならぬ!!
……
どっ!!
ハハハハ
何だ!!
何がそんなに
おかしいのだ!?
ハハハハ
フロだって
ヨ!!
ワハハ
キャハハ
フロ作りに
来たんだって
この兄さん!!
風呂は
よかった
こいつ
絶対
ダマされて
るって!!
……
ウハハハ

風呂を小馬鹿にしている様だがお前達の臭さはこの世のものとは思えぬ!!
一体どれだけ風呂に入っとらんのだ!?
あ!?

うるせいッ
山賊が風呂なんかにちまちま浸かってられるかって!!
……
臭さなんて慣れりゃどうってことねえってのよ

……
うえっくせえっ
よく嗅いだらくせえよッ!!

しかしこれだけ臭かったら貴様らの居場所は丸わかりだぞ!?

調子乗ってんじゃねえよ!!
くせえから何だってんだッ!!
馬と身に着けてる物さっさとこっちに寄越しな!!
…
…こんな宝の山に囲まれているのに……
それが貴様らには解らぬらしいな…
……宝だとォ!?
何だ宝って!?
さあー何か皇帝のお宝でも隠してあんじゃねえの?
こんな所に宝だ!?
どういうことか説明しろッ!!
……知りたければ
私について来い!

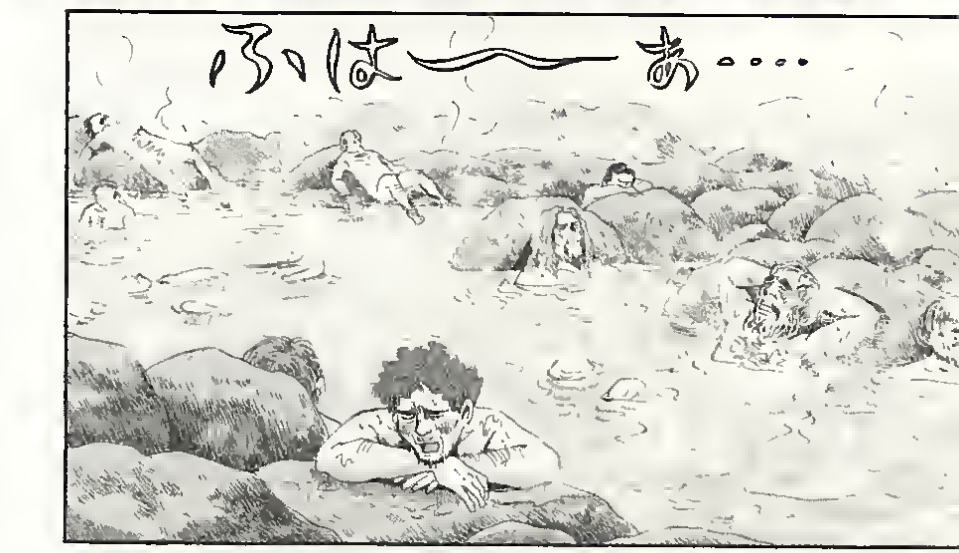
見ろッ!!
素晴らしいではないかッ!!
なんと湯量が豊富なのだッ
温度も適温!!
そしてこの湯の良質なこと!!
触れただけで肌の中に染み込んでくるぞ!!
……
……
これは相当良い浴場ができるはずだ…

こんな所のどこに
宝を隠してるってんだヨ!?
おいッ
宝なら…ここにあるではないか……
ズッ
オレ達をどこまでコケにしたら気が済むんだよ…え…!?
早いとこあんたの言う「お宝」ってのを見せてくれねえと…
この首がスッ飛ぶぜ!?
……手伝いが必要だ

宝だと証明するには手伝いが要る！
……
フン
しるっ
え!?
…て…手伝うんスか…!?
……
さっさとやれェこのウスラボケが!!
ボコッ
ごろごろ

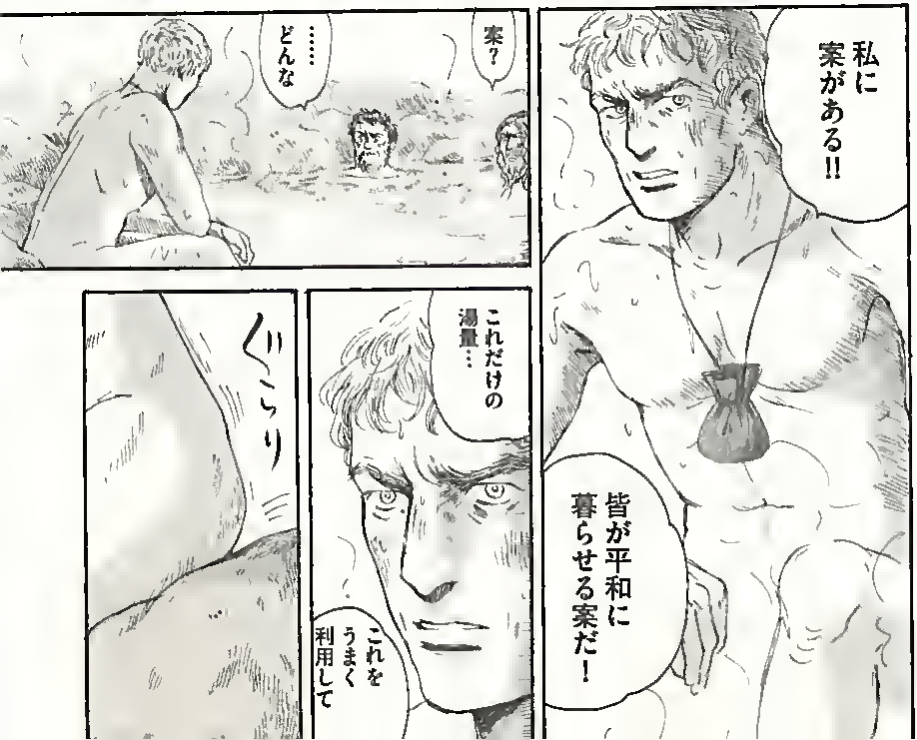
……
その岩は
もっと右に
移動させて
くれ!!
もっと
右だ
右!!
畜生!!
あの野郎
調子に乗り
やがって!
親分の
命令だ…
逆らえねえよ
まぁっと
宝が見つかった
時点で
あの世行き
だろうな…
……
おいっ
アレ
見ろよッ
へっ
……
がぼぁ

……
じゃぶ
じゃぶ
何してんだ
あの野郎…
じゃぷっ
……
思った通り
最高だぞ!!


ふはぁ〜〜〜あ……

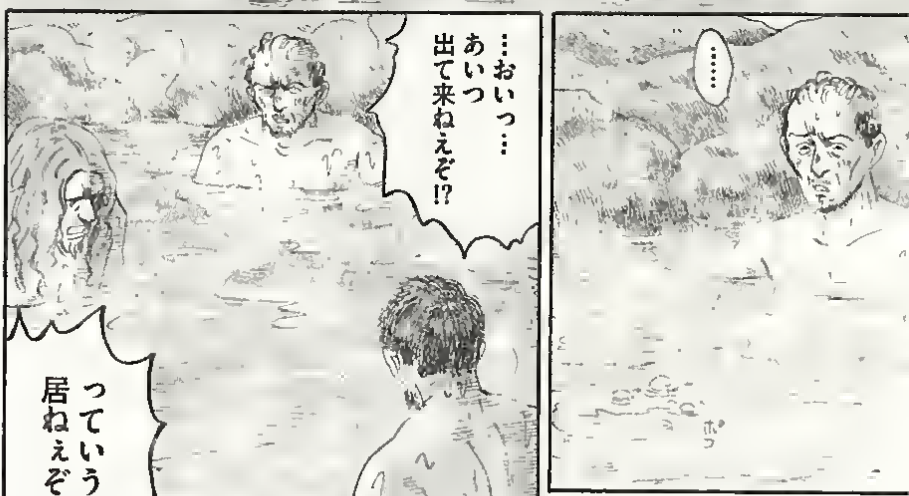
ほあ〜〜
たまらんな…
この毒気が
抜けてく感じ…
オレ何かもう
どーでも
いいわ…
生まれ変り
そうだ…
温けえ湯に
浸かってると人を
襲ったりするの
面倒になって
きますネ
ねェ
親分…
……

※この時より半世紀以上さかのぼるAD79年に、有名なポンペイが滅んだヴェスビオス火山の大噴火があった。



どっぼん
わっ
……っとォ!!

わはは
岩ごと落ちたぞッ
くわはは
マヌケな野郎だぜ!!


……
…おいっ…あいつ出て来ねえぞ!?
っていうか居ねえぞ!?

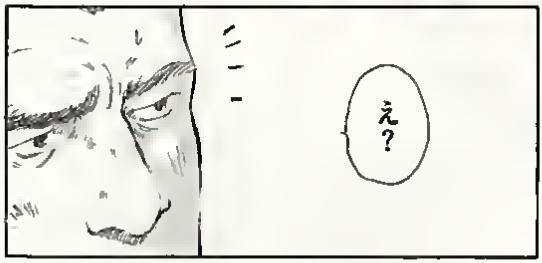
第12話
じっ…
……
…
コ…ン
コ…ン…

ルシウス技師から
貴殿が素晴らしい
彫刻師であると
いつも伺って
おります…
ハハハ…
あいつの為に
随分と色んな
ものを作らされ
ましたからねえ
……
コロン
そう思って
くれてるなら
有難いや…

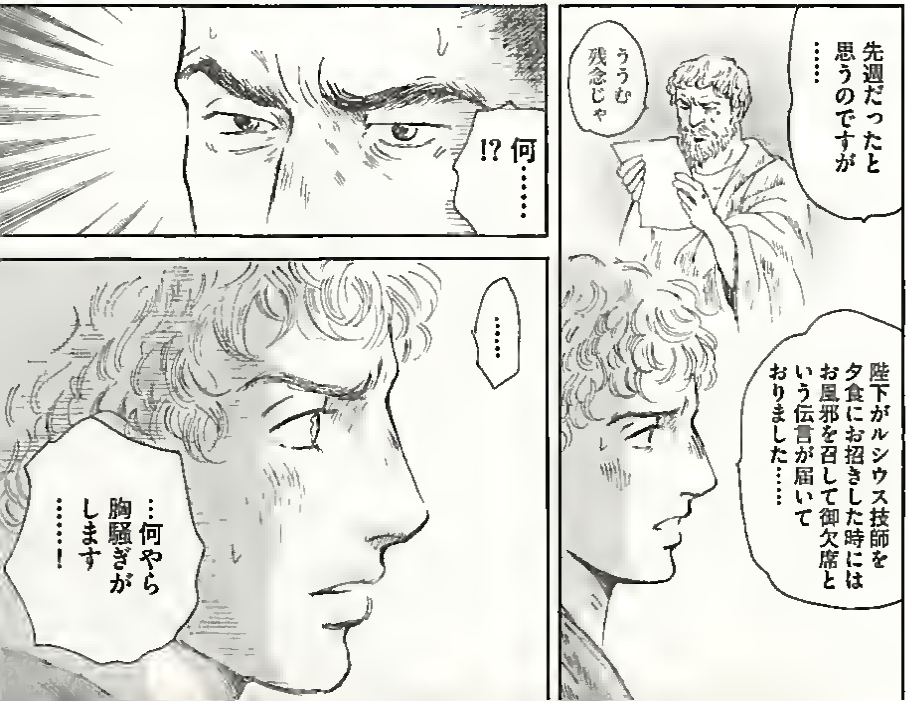
……この子は
父親が早くに
亡くなり
ましてね…
以来 祖父と
ハドリアヌス様に
それはそれは
可愛がって頂いて
おりまして

間もなく成人を迎えるに
あたって記念の胸像を
作るようにと皇帝が
御提案下さった時に
この子が
ぜひあなた様に
お願いしたいと…

そういえば最近
ルシウス技師を
お見かけ
しませんが
お元気ですか？
陛下も
アエリウス様も
気にかけて
いらっしゃい
ましたので…

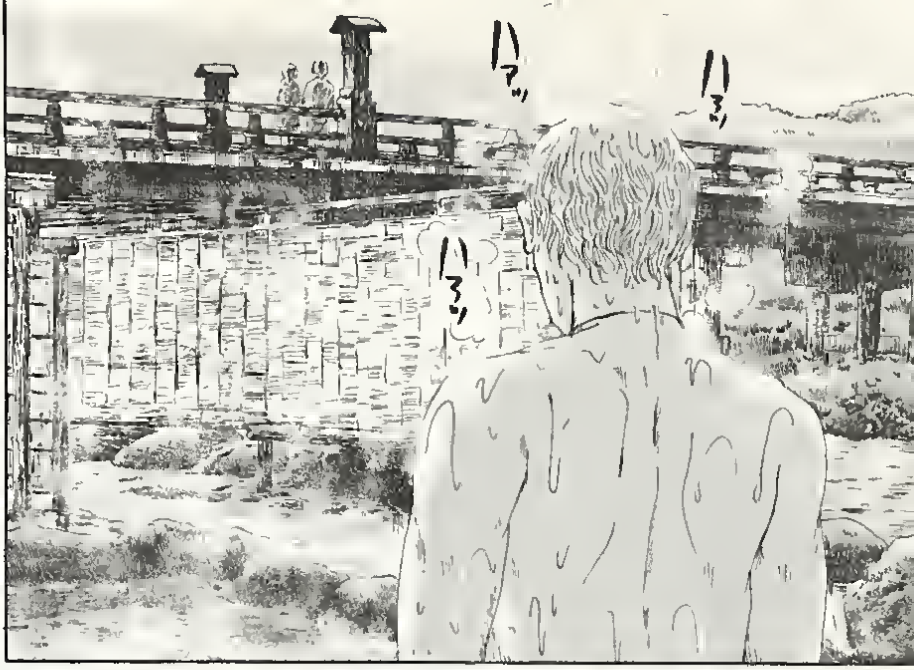

え？

ルシウスなら陛下の御命令でヴェスピオスの蔵まで出向いておりますが…？
……ヴェスピオス!?
別荘を作る為浴場設営の下見に行ってくるようにと……
御通達は確かに元老院からということで受け取ってすぐに出かけましたが……
…
……妙だな…


先週だったと思うのですが……
ううむ残念じゃ
陛下がルシウス技師を夕食にお招きした時にはお風邪を召して御欠席という伝言が届いておりました……
何……!?
……
…何やら胸騒ぎがします……！

※高い身分の人物が乗った、寝そべって乗る輿。

ゴボボコ
くっ…
苦しい!!
早く水面に出なければ!!
早くっ!!
バシャアー
クファッ


ハアッ
ハアッ
ハアッ

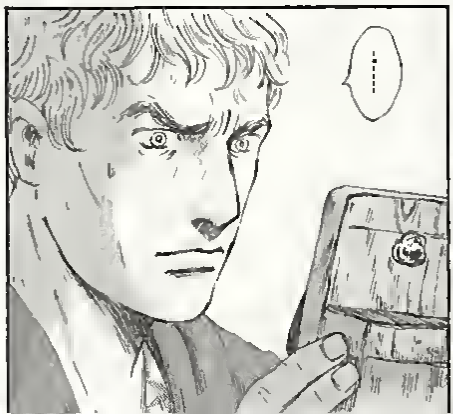
ハアッ
ハアッ
ハアッ

街!?
あちらこちらから
立ち昇る湯気…
そして この川べりに
沸いている湯…
どうやら
ここを取り囲む
あの山々は火山と
いうことらしいな…
ビシャリ
!?
これは
平たい顔族の
衣服だ…!
私以外の人間の姿は
他に見当たらぬが
これは忘れ物で
あろうか…?

お先客の方！
……
わろぁ
いやあ～大分涼しくなってきましたねえ～よかったよかった！

……平たい顔族の街か……

む!?


……

ほんの少しの間だけこの衣服を拝借しよう!!

カラ
コロ
カラ
コロ

湯共同浴場
こち
じいちゃん
これ飲んでも
いい？
いいよ
様々な年齢の
人々……

華やかな街並み
ハハハ

治安の悪さを
全く感じ
させない
温泉の湯気に
包まれた
開放的空間
キャハ
ハハ

……

そして

松の湯

あちらこちらで
見かける
あの印……

あの印は
平たい顔族の
浴場に出てくる度
目にするものだ
……

松の湯

道行く人も
皆
湯上りの
様子…

うへー
いい湯
だった～

ここはつまり
火山に囲まれた
温泉の街…

おみやげ店

私がヴェスビオスで
漠然と思い浮かべた
復興案に似ている…

いや
ここは私が
想像したものより
遥かに素晴らしい…

画期的な事を
思いついたと
確信して
いたのに

平たい顔族に
とっては
既に存在するもの
だったとは！

フーン

？？？

何だ
この匂いは!?
やけど
はーい
温泉まんじゅうだよー
味見していってちょうだいよー
名物
かぱ
おいしい
ようぅぅぅ
できたてだ
ようぅぅぅ
ふかあ〜
……
ホラ
外人さん
味見してって!
うちのがね
評判いい
のよぐぐぐ
…
もふ
もふ

うつま…

な…っ

何なのだ
これは…!?
パンか!?
パンなのか!?

良かったら
お店の中も
覗いてって
くださいな！

しかも
よく見ると
またもやあの印…

……
湯のパン!?

わあ～
見て見て！
おいしそ～

蒸したて
だあ～

2個
くださあ
～～い！

平たい顔族の
嬉しそうな顔…

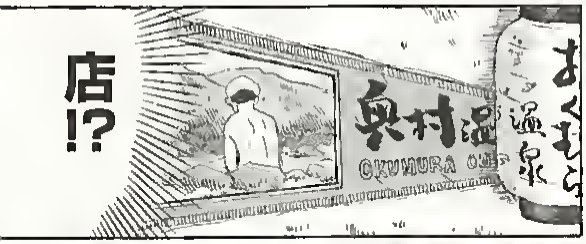
もしかすると
このパンはここでしか
食べられぬ物なのかも
しれぬな

おいしキャ～

湯の印が付いて
いるという事は
温泉の蒸気で
蒸しているのかも
しれぬ

そしてここが
製造所か…

こっ
これはっ
……



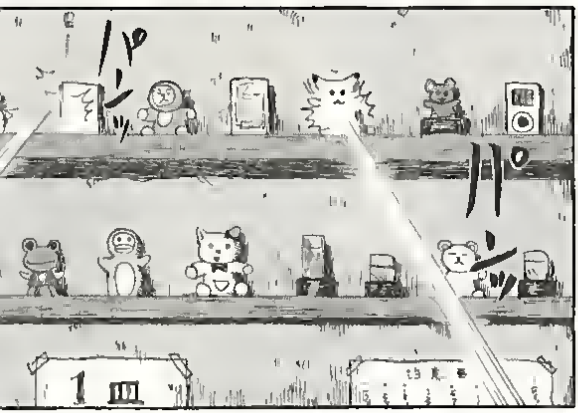
店!?

？

何だ
これは!?

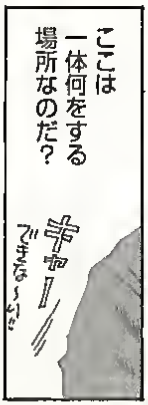
ボーイ
BOY
?
こういう物を売るから
街も繁盛する…
出来れば
ここにある物全てを
持ち帰って研究
したいところだが
それは無理だ…

たまたま
山賊に盗られず
首に下げていた
ローマの
通貨はあるが
……
味見して
いって～
属州ではない
この国では通用
しないであろう…
腹も減ってきたが
払える金が
なければ
どうにもならぬ
大当り!
む…あそこも
賑わってるな
……


パーン
パーン
1回

今度こそ
行くぞ!

ラコ
ムリだよ
ニホン～
ラゼルム
がんばって～


ここは
一体何をする
場所なのだ?
キャ
できな～い

あれーっ!?
今当たった
気がしたのにな～
ヒカチュー
……

ほらああああ
やっぱり全然
ダメだああ〜
…
もう
止めるよ！
え〜
もったい
ないよー

ヒューッ
えいっー
トス

…
なんか
見てる…
わっ
イケてる
外人…
ちょっと
ジョージ
呼んでゆ？

弓
やりたい
のかな…
これさー
残りの一
あげちゃお
っかなー
…
ヒソ
ヒソ
ヒソ
あたし
マジで
もういいし！
ミキが
それでいいほうが
そっこなよ

あの
これっ
ニコニコ
よかったら
どうぞ♡
プリーズ♡

む!?
もしや
私に手本を
見せてくれと
言っているのか？

随分弱そうな弓だが
まあいいだろう
ビィーー!
あの
円の中心に
矢を射れば
いいのだな？

ギュ…
カッ
カッ
カッ

キャ〜〜!!
なんなの〜
このひと〜!?
せ…
選手?
とかかな?
的が
近すぎる…
すごい
すごい!
パチ
パチ
外人さん
大当たり
〜〜!!
そんな外人さんに
スペシャルな景品が
出ちゃいまーす!
わー
すごい
…
やった
やった〜!!

カラ
コロ
麻雀
2F
カラ
コロ
あんな簡単な的当てで
こんな大きな褒美を与える
と言う事…
それはつまり
平たい顔族の軍事力の
低さを物語っている
あの娘たちに
渡そうと
したら
わー♡
いらねー
あ
どーぞ
どーぞ！
外人さんの
ですから！
頑なに
断られたが…
…
この平たい顔族の世界に
生息しているのであろう
奇妙な動物の人形は
私がこの民族をやっと
超えられたという事の
大切な証
できれば何とかして
ローマに持ち帰りたい
所だが…
ドーン
っと
すみませんっ
ボテッ
あれっ
外人さん
財布
落ちました
よー？

？
これ
これっ！
フトコロから
落ちたよ！
財布…？
しかしこれは
私の所有物
ではない…
いや…
待て！
この袖の袋状の
ところから
落ちたと
今の男は言って
いた様だが
とすると
これは…
…
この服の
持ち主の物！
すぐに
返さねば
!!
あそこ
だっ!!
誰か
いるぞ！
ねえなあ
くそ！
盗られた
かー

お前が俺の服なんか持ってくるからややこしい事になっちまったんじゃねえかよ！
浴衣で外歩いたら腹冷えるから服持ってこいってゆうたのお前やろ!?
ま～大した金額は入ってへんかったから別にええんやけどよ～
…
これを探しているのか!?
もしかしてこの財布を探しているのではないか!?
ハァ
ハァ
あっ！俺の小銭入れだ!!
あ～
この人間違うてお前の羽織着てってしもたんやわ～
や
わざわざすんませんでしたねえ
大変無礼な真似をした…
……

そうだ！
両替という手段がある!!
ローマの通貨ならいずれこの者らも使う機会があるはずであろう!!
…
？
そなたらに提案がある…
え!?
何!?
…何だ？
……
じゃら
じゃら
うえっ
何これっ!?

これと
そなたらの
通貨を両替しては
くれまいか
……？
え!? な…
何だって？
うお
これ
銀や!!
どこの国の金か
知らんし
形も不揃いや
けど ほとんど
銀貨や！
…んなア…
偽物じゃねえの？
ありえねえって…
コインが偽物や
としても
これが銀やって
のはウソやない
俺ン家
質屋やったから
わかるんや！
…で
これを？
取り替えろっ
ちゅう事？
チェンジ？
……
てきとーな事
言ってんじゃ
ねえよ お前
……
……
あーもー
どーぞ
どーぞ!!
いいのかな…
ほんとに…
どうやら交渉が
成立した
ようだな…

よしっ！
平たい顔族の
通貨を何とか
入手したぞ！
しゃら
これ全部がローマの
通貨でどれくらいに
値するかは分からぬが
さっきの細工を
調達したり
何かを食べたり
するくらいは
できるであろう
……
・素晴らしい
鋳造技術
だな……
とりあえず
もう一度あの街の
中へ戻ってみよう
仲村
カラ
コロ
……
カラ
コロ
それにしても
ローマのように
通りに
開放された
食堂みたいな
ものは存在
しないのか？
……
む!?
フーン

よし！
ここだ!!
くっ
ドキ
ドキ
いくぞ!!
へーい
らっしゃーい！
ラーメン
食堂!?
何なのだ
この……
脳の感覚を
麻痺させるような
極上の香りは…
……
うまーひ！
ズズー

第13話

えっ？
……
ズル
と物を
あれじむ！
頼む！
……これと同じのを
くれって
言ってんじゃ
ないの？
こっち指差してるし、
あー
そっか
そっかあ
ハハハ
同じやつっ
てことね！
ハイよっ
そんじゃ
味噌一丁！
じゃあ
じゃあ
じゃっ
じゃっ
なんとか私の
意思が通じた
ようだな…
ザリザリ
そ…

とん
へイっ
お待ち〜
なんと…
アッという間に
完成した…
一体
何が素材に
なっているので
あろうか…
こうして
みたところ
私に判別が
出来るのは
煮切りの肉と
茹でた
卵くらいだ…
汁の中に浸された
この黄色くて長い
物は何なのだ?
この黒いバビルスの
ような物や
この茎の伸びた様な
植物は一体…
渦巻き状の
これは食べるのが
惜しい程
美しいが
何なのか
さっぱり分からぬ…
いや
それよりも私が
気になるのは
……

※リグラ＝ローマ時代のスプーン。
ルディクス＝スープをかき混ぜたりした太い棒状の食器。

……
ズズズズズズズズ
ズ
……
カッ
しいーん
……

これは一体どういう事なのか…
……
料理の分野でも我々はこの民族と同様にギリシャの影響を受けているはずだというのに…
……
なぜ平たい顔族だけこんなに美味い物を開発できたのだっ!?
兄さんっ口ん中ヤケドでもしたかねっ!?
えっ!?
いかん！ここで取り乱してはローマ人の名に恥じる……
OPTIMUM! うまいぞ!
へ!
VERITAS! 本当だ!
うまかったって言ってんじゃないの?
ハハハ
そ……
そうかい…?
なんか顔がおかねーけど…

見てご覧よ
この食べっぷり…
相当感激したんじゃないかね？
ズッ
ズルズル
ズッズッ
ズルッ
いいやあ
〰〰…
涙が出るほど美味かったってことかい？
俺のラーメン…
じいーん
ローマのどんなに贅を尽くした料理であってもこの者らには鼻で笑われるかもしれぬ
いろんな意味でローマとこの国が互いの存在を知らぬのは救いであり悔しくもあり…
トン
む？
何だこれは？頼んでいないぞ？
ラーメン気に入ってくれたお礼だよ
俺の奢りだ喰ってくれ！
へへっ
そうかこれはこの汁のつけ合わせなのだな…

手づかみとは豪快な！ハハハ…
アツアッだ……
むう…
ジューシィ!!
俺のラーメンって世界にも通じるんだなあ〜ラーメンやってて本当に良かった〜
これはっ
止まらん!!
バクバク
バク
まてっ!
最後の一個はローマに持ち帰ろう…
ギリシャの何が変化してこうなったのか
え？秩にしまうの？

よし！
腹はすっかり
満たされた
さっそく
さっき両替した
通貨で支払って
みようではないか

……

じゃら〜

100

100

……

お…
お勘定かい？

皆目
分からん！

キラッ

む!?

黄金の輝きと
中心に穴を
空けた手の
込んだ作り…

これは相当に
価値のある
通貨と見た！

この調理人の腕にはこれくらいの報酬があって当然であろう

遠慮せずに受け取ってくれたまえ!

ほんの感謝のしるしだ!

いや…はは…これじゃ足りないな…

ハハハ

む!? 納得してない表情!

じゃら

じゃら

では一体どれだけで足りるというのだ!?

この紙のやつで足りるよここの勘定

!?

※古代ローマには紙幣は存在しなかった。

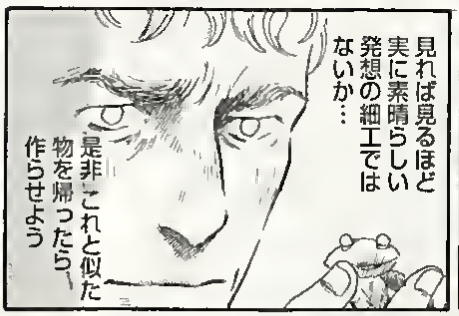
なんだこれはっ!?

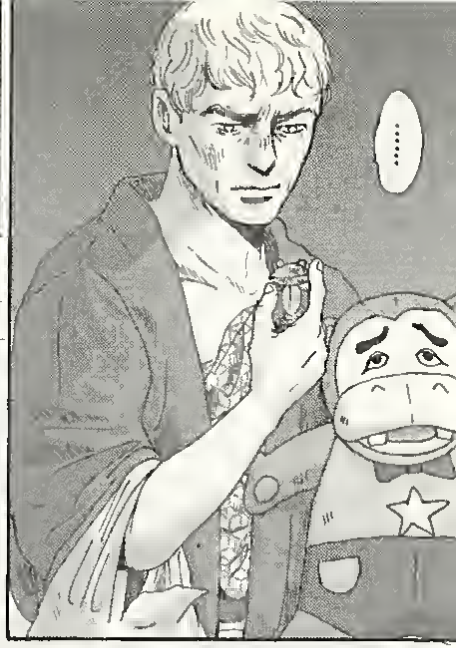
まさかこれも通貨だというのかっ!?

なんという細かさ…

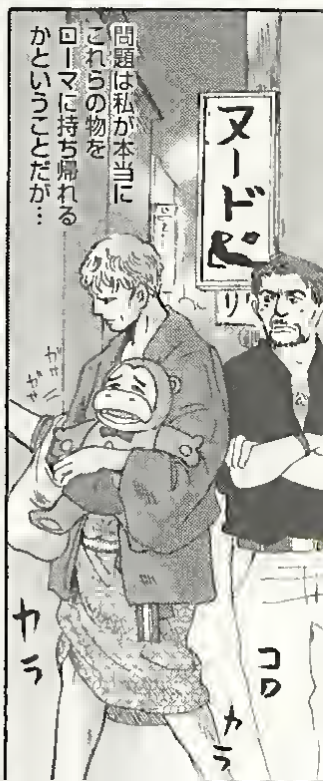
精巧過ぎて恐ろしい!!

この人物が平たい顔族の皇帝か!?
そうそうそれで足りるよー!
はいお釣りが三百円ね!
ありがとうございました〜〜!
パピルスの通貨とは驚いたな…
カラ
コロ
カラ
結局あの料理がとれくらいの価値のものだったのか分からず終い
とりあえず美味いものを存分に食べられたので満足だ
だがのんびりはしておれぬ
ローマへ戻ってしまう前にまだ調達したい物がある
おみや
ありがとうございました〜〜


見れば見るほど
実に素晴らしい
発想の細工では
ないか…
是非これと似た
物を帰ったら
作らせよう


……

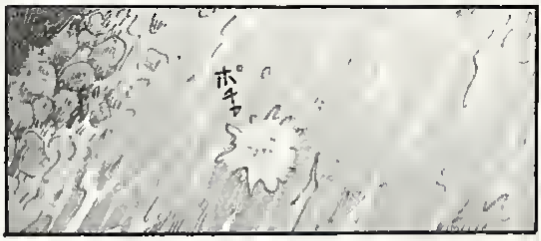
…

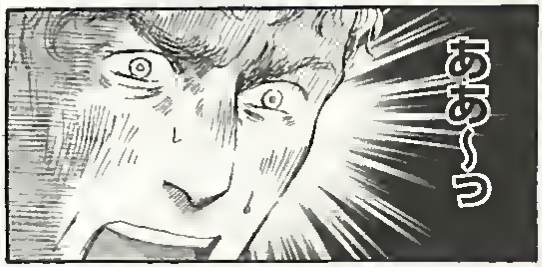

問題は私が本当に
これらの物を
ローマに持ち帰れる
かということだが…
ヌード
コロ
カラ

今
何か…
そ…
…

ルパナル
娼館!?

あれっ？
あれあれ～
外人さん
もしかして
興味あり～？
……こいつは
……？
山賊の
頭では
ないか!?
ナイスガール
おるから
見ててってよ～
いや 違う
こんな所に
いるわけが
ない…
いい
ねえジャパ
ニーズガール
ヌード安く
しとくから！
ブーン
あっ
ちょっ…
OPUS NON EST
今は必要ない!
ちょっと
待ってよ
お兄さん!!
ダダダ
絶対に気に
入るから
ねえ～！
客引き
……
どこへ行っても
ああいう人相は
タチが悪い
らしいな…
どん
わっ
すみませんっ
!!


ポチャ


ああ〜っ

ガ
私の戦利品が〜っ!!

あれだけは
何としてでも
ローマに連れて
行きたいっ!!
カッ
カッ
コッ
何として
でもっ
救い出さ
ねば
ならんっ!!
ブチッ
バッシャ

ハッ

ガバッ
あら？
…こいつ
生きてるわ

本当だ！
わははは
……
おめえ
あんなに長い間
湯の底に沈んでて
よく死んでねえ
なあ〜

なんでいつの間に
服なんか着てん
だか知らねえ
けどよ
おめえと一緒に
ヘンな物が浮
かんできてるぞ
ほげり
ほげり
なにっ

ぷか
何だ それ…
……
……
材料は揃った…
よしっ！
ボヤボヤしている時間は無いっ!!
すぐに村を完成させるぞ 皆の者っ!!
何だよ 村そ…
村？
……

暫く後——

…一体いつまでこんな事してなきゃならねーんだ？俺たち…
知らねーよ畜生！
ここを村にするったって日干しレンガを作る作業からだぜ？
一体あと何年掛かる事やら…

あー休みてー
おおいっアレ見ろ！

だいたい見てみろよ…あいつのイッちゃってる様子…
もう一杯かい!?
あそこには別の店を…
いつの間にか親分まですっかりあの野郎に影響されちまってよう～

ドッ
ドッ
ドッ
やべえっ軍隊だっ！
ざわざわ

逃げるべ！
捕まっちまうぞ!!
大丈夫だっ！逃げるな!!

ルシウス技師ーっ!!
ご無事ですかーっ!?
パカラッ
パカラッ
マ…マルクス・ウエルス様!?
ああ良かった!
お変わりなさそうだ…!
大変な事になっているのではと心配して駆けつけて来たのですが
ご心配無用です!
フッ
除隊の事は暫くおこう
ただ想像していたよりもここが幾分扱いにくい土地だったもので…
皇帝陛下の別荘の前にまずは環境整備をと思ったのですが
山賊を全て使ってもこの人数なのでなかなか捗らず…
そんな事ならお安い御用ですよ
ルシウス技師!
ご覧の通り労働力ならいくらでもここに!!
……!!

確かに
これだけいれば
道路も水道も
整備できますな
……

…技師は
ここを最終的に
どのように
しようと
お考えなのですか？

※ローマの軍団兵は戦闘だけでなく、都市建設等のエキスパートでもあった。

村です

温泉浴場を
集合させた
憩いが目的の
村です！

温泉の
村!?

随分と賑わっとりますのう～
今やローマ中で噂になってますからねこの場所は！
温泉だけじゃなく店なんかも随分と充実しとるしのう～
ママ～これほしいよ～買ってよねえ～
わあ
ごめんなさいこの貝殻の細工っておいくらなのかしら…
あえっと…
オイ これいくらで売ってんだっけ？
たったの1アスです！
あら？
外からなんだかとっても良い匂いが…
プーン
お向かいの食堂（ポピナ）かしら…

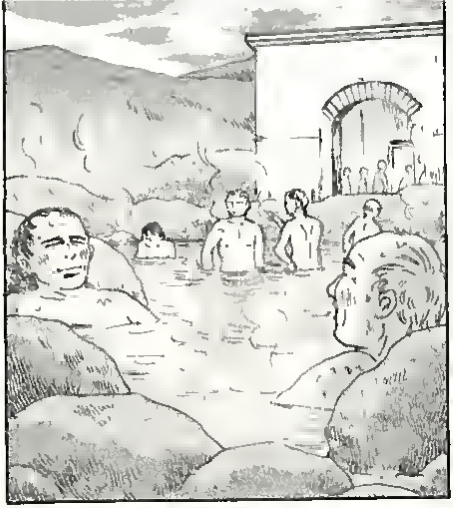
※ラガヌム＝小麦粉に水を混ぜ細長く練ったもの。

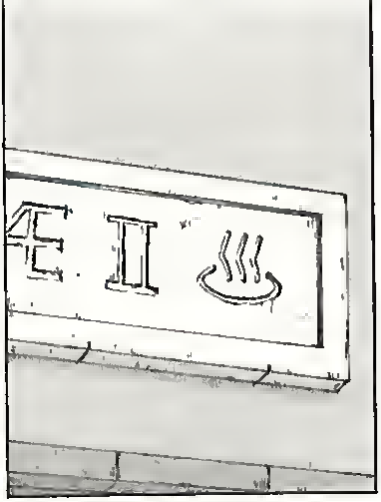
なんでえ
辛気臭え
オヤジたちめ…
でもまあ
今日は
朝からガッツリ
客も入ったし 焦る
こたあねえよな…
おっ！
親分！
おお～お前か！
忙しそうだな
どうだよ
そっちの店の
調子は？
いや～
繁盛して
ますよ～
今も材料が
足りなくなって
買いに行く
ところですわ
例の野郎が
何度も味見して
作った
変なスープ…
野郎は未だ
納得いってない
みたいだけど
客にはバカウケ
っスよ
ワハハハ
そうか！
お前もともと
料理好きだったし
良かったな！
皆 堅気に
なって喜んで
るな…
ルシウスよ
貴様にゃ
感謝してるぜ！

…しかし
これは…
何ともはや…

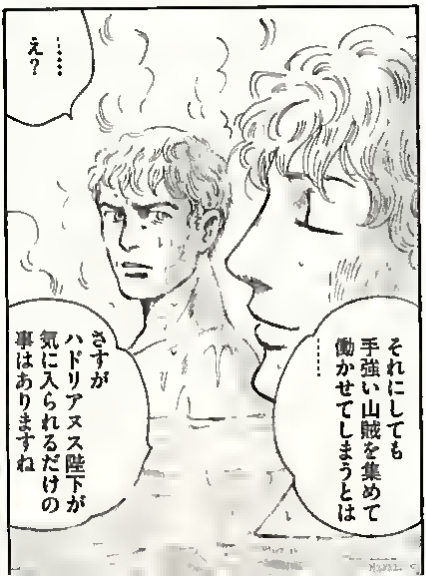
お忍びで
様子を見に
くれば…
……
まさか
こんな展開に
なっておった
とはな…

暗殺どころか
奴め こんな
快適な街なんぞ
作りおって…
くっ…
私はどうも あの
モデストゥスという
男を甘く見ていた
ようだ…
計画は
大失敗だ!!
まあまあ
もう良い
ではないか
……
もうそんなこと
考えるのは止めて
温泉を楽しもう
ではないか
セルギアヌス殿!

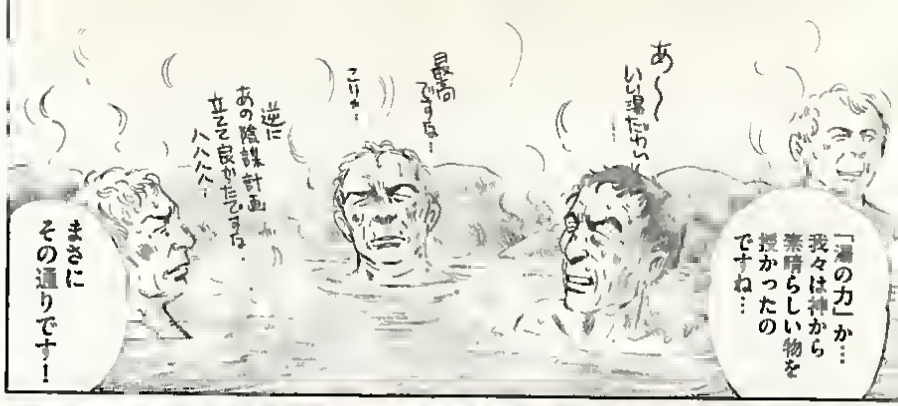




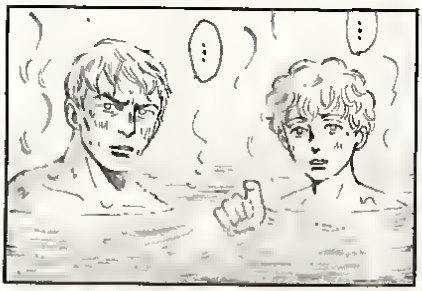
ハドリアヌス様も
ご容態が良くなられ
次第こちらへ様子を
見にいらっしゃるとの
仰せでした…
アエリウス
様も
急にご公務が
増えられて
ルシウス技師
にはくれぐれも
よろしくとの
ことです
……
恐れ入ります


それにしても
手強い山賊を集めて
働かせてしまうとは
……
さすが
ハドリアヌス陛下が
気に入られるだけの
事はありますね
……
え？

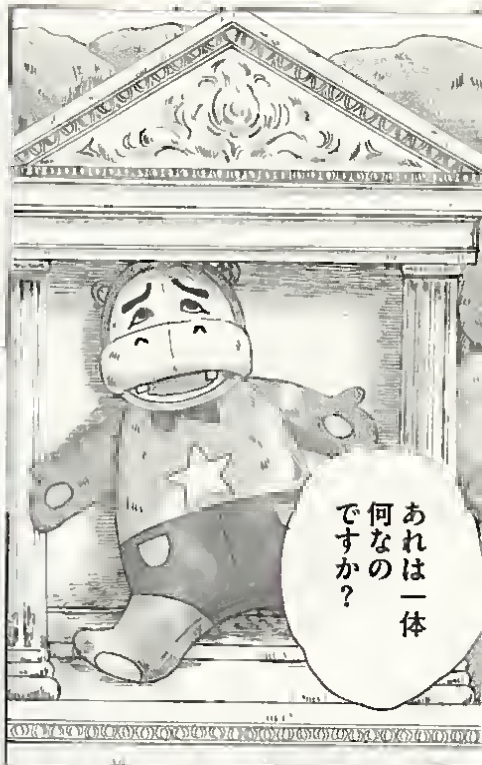
いえ 山賊たちが
ああして纏まって
くれたのはひとえに
「湯の力」のお陰です
湯のある場所に
諍い事は
生じませんからね…


「湯の力」か…
我々は神から
素晴らしい物を
授かったの
ですね…
まさに
その通りです！
逆に
あの陰謀計画
立てる良かたぁ
ハハハ…
最高の
ですね！
こりゃ
あ～
いい湯だぁ

ところで
ルシウス技師
気になる事が
あるのですが
あの奥の
祭壇に
置かれている
……
はい


…
…

神です！


あれは一体
何なの
ですか？

ローマ&風呂、わが愛

読み切り作品として始まったこのお話も、ふと気が付いたら3巻目になっておりました…。全てはルシウスの風呂アドベンチャーを支えて下さっている皆様方のお陰です。心より感謝いたします。

ところで今回のカバーは、名作揃いの古代ローマ彫刻の中でも最高傑作のひとつに数えられる、ヴァチカン美術館所蔵の「ラオコーン像」をモティーフにしております。

実はこのイラストは、既にコミックビーム誌の表紙を一度飾ったものでありまして、「3巻の表紙は描き下ろしじゃないのかよ」と思われる方も中にはいらっしゃるかもしれません。ですが、個人的にこのデッサンには色々な思い入れがありまして、敢えてコミックスのカバーにも用いる事にさせていただきました。

ギリシャ神話屈指の悲劇であるラオコーンの逸話の中で、最も残酷なシーンを描き出したこの彫刻に、私はシャンプーハットを被せてしまったわけですが、この絵を描いた時、こよなくギリシャ・ローマ文明を愛する夫から猛烈な抗議を受けました。「何もラオコーンじゃなくたっていいじゃないか!! もっとヘンな彫刻なんていくらでもあるだろー!」と。

ええ、そうですよ。そうですとも。でも私は、かのミケランジェロにも強烈な刺激を与えたという、この哀れな神官の肉体の「うねり」を、どうしても描きたかったのです。それに、ラオコーンだって髪の毛くらい洗っていたでしょうし、頭皮をじっくりマッサージしようと思ったら、やっぱりこういうポーズに必然的になっていたと思うのです。だから、これはプライベートなシャンプータイムってことで、どうか許していただきたく、ラオコーンファンの

イタリアの大浦谷・ポッツオリのソルファタ

vol.11

方々、ご了承下さいませ。

さて、3巻の最初のお話は日本の温泉街ですが、実はこのエピソードを描いている途中で、私は夫の仕事の都合により、ポルトガルからアメリカのシカゴへ引っ越しをいたしました。

シカゴ。ギャングとブルースとオバマの街、シカゴ。都会だし、楽しくていいんですけどね……ただ、自宅の窓から見える景色、周りを取り囲むビジネス臭に包まれた高層ビル群は、私を何とも行き詰った心地にさせるのです。向かいに建つビルの、同じ高さのフロアはジムになっていて、心身のバランスをなんとしても整えようとするアメリカ人達が、毎朝5時くらいから一心不乱に運動しています。そんな様子を見ていると、やり場のない圧迫感が募ってくるのを抑えられません。

日本の温泉街…そう、それは、こんなシカゴのダウンタウンの雰囲気とは対極的な、完璧に180度向こう側にある世界ではないでしょうか。

温泉街には、人間が日常で強いられる「生きている以上、何かやらねばいけない。自分を何かに役立たせねばならない」という緊張感やら義務感が、すっかりこそげ落ちた「思いっきり緩もう、ちょっとくらいハメも外してヨシ！」的な、怠惰さと優しさの混合した寛容な空気が漂っています。あんな場所は、少なくとも私の暮らすこのアメリカの都会の周辺には一切ございません。大変残念な事ですが、人前で無防備な素っ裸になってお風呂に浸かるという習慣すらないこの国で、日本の温泉街の理念を解ってもらうのは、不可能であると考えざるを得ません。

私の手元に、温泉を特集している

かつて繁栄していたであろうカンパニア州バイアエの温泉地の遺跡

1976年発行の雑誌「太陽」があります。沢山の著名人の方達が日本各地の温泉について手記を寄せている中に、作家の田中小実昌、漫画家つげ義春、そして写真家の渡辺克己の三氏が、城崎温泉の温泉街で一緒に過ごしている様子を綴った記事が出ています。

酔って前の晩の記憶が無いという田中小実昌さんの文は、読んでいると行間から饐えたアルコール臭が漂ってきますし、そこに添えられたつげ義春氏の味わい深い温泉街のイラストが、これまた素晴しい。狭い路地に射的場や湯の町ヌード、小さな飯屋などが密集していて、さりげなく立ち小便をする浴衣姿の男の後ろ姿や、赤いシュミーズ一枚で客を呼び込むヌード屋の女性の姿が醸す退廃的な雰囲気が、心を揺さぶります。

そんなつげさんの情緒に満ち満ちた世界に浸りながらページをめくると、芸者さんに浴衣を半分脱がされて両サイドから乳首をいじられている田中小実昌さんの写真が、巨大な見開きで出てきます。読み手の意表を突く物凄い編集です。

でも、私は思うのです。これ以上に温泉街の解放感を表現した写真が他にあるだろうか、と。温泉街と言うものが、いかに人間から表面的で窮屈な体裁を取り除いてくれる場所か、そこでハメを外さなかったら一生人間社会の中で緊張感に縛られて生きるしかないのだと訴えかけてくるような、素敵な写真です。

今回のルシウスは残念ながら、せっかく鄙びた温泉街に現われていながら、一時たりとも眉間の皺を緩められずにローマに戻ってしまいますが、人間として心身のバランスを重視し、巨大な帝国をそれぞれの分野でプライド高く支える一方で、公共浴場では

古代ローマの熱海、バイアエの海岸

伊東温泉の海岸

他人と一緒に素っ裸になって湯に浸かりリラックスをするという術を知っていたローマ人になら、日本の温泉街は歓迎されるのではないかと、私は考えたのでした。

そして、今回取り上げた温泉街でのお買い物。ルシウスは、両替に成功したお金で貝細工を購入します。温泉街の土産物屋などで購入した物は大抵、やや時間が経つと「…何でこんなの買ったんだろ」と、自らの当時の嗜好に疑問を抱くような物だったりします。ですが世の中には、日常の緊張や様々な義務感から解放されて伸びたパンツのゴムみたいな精神状態にならないと、欲しいと思えない「物」というのが存在するということを、温泉街の土産物は教えてくれます。人様にお土産として献上したら迷惑がられるに決まってるような、温泉のお湯でふやかされた脳細胞のみが反応する、体裁を一切無視した緩い物欲も、人として大切なものだと思います。私も以前、某温泉街ででっかい通行手形のキーホルダーやペナントを喜んで購入し、しばらくしてからそれを見て、自分の不可思議な衝動について考え込んだことがありました。でも、そんな物欲を悔やんではいけないのです。その通行手形こそ、解放されきった素晴しい精神状態の証なのですから。

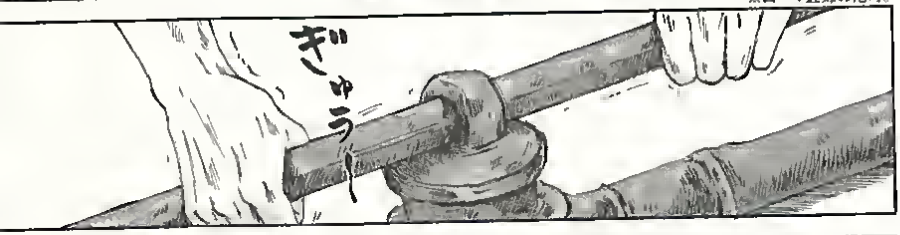
独自の時間の流れの中で、まったりと人々を癒す日本の温泉街。古代ローマでも、恐らくカンパニア州パイアエのような一大温泉地では、それと似たような雰囲気が感じられたのではないかと推測しますが、とにかく、今暮らしているアメリカからは、色んな意味で程遠い世界であります…。

伊東温泉の街

北海道の温泉街の土産物屋。
さあ、どれを選ぶ？

第14話

※ローマ近郊の港町。



パンノニアのアエリウス様よりそなたに書状を預かって参りましたー

……パンノニア？

アエリウス・カエサル様は現在パンノニアの総督をされております

※現在の東欧各国にまたがるドナウ川沿岸のローマ帝国最前線防衛拠点。

親愛なるルシウス
私は今 夏の気配など一抹も感じられぬ寒き土地パンノニアよりそなたにこの書をしたためている：

第14軍団ゲミナと言えばローマにおいては重要な駐留軍であることはそなたも熟知してはいると思うが：

……

しかしここに赴任して驚いたのはその浴場の古さとボロさである：

寒っ!!

どんなに長時間炊いても湯がさっぱり熱くならずどう見てもこの浴場には大々的な整備や点検を行う必要があると思われる：

父上は寒冷な土地の方が私の健康に良いはずと判断されたようなのだが

温かい湯に浸かれぬこの状況では私の体力は衰える一方だ

ついてはそなたに
こちらまで出向いて
もらうことは可能で
あろうか？
多忙な事は
承知している
だが是非とも前向きに
この件は考えて
くれまいか…
…アエリウス…
どこまでも軟弱な
男……
……
だがしかし
活力の元となる心地良き
入浴が出来ないというのは
実にまずい事態だ…
私は今
ハドリアヌス様に
命じられてここ
オスティアの浴場を
修復している以上
どうしても
今ここを去るわけには
いかぬ…
ルシウス技師！
冷浴室（フリギダリウム）
での準備が
できております！
ああ
今行く！
そして
この後はすぐに
カンパニアにある
バイアエの
浴場修復に
行かねば
ならない…
ゲミナの浴場が老朽化
しているとはいえ
わざわざ出向く程の
ことでもないを思うのだが
左の管は
水盤にもう
接続済みか？
ういえ
これから
ですが…
そうか では
忘れないように
しっかり頼む！
しかし あの男の
ことだから
辺境の地にも ローマ市内
並の浴場を求めている
のだろう…

パンノニアといえば
クアディ族やマルコマンニ族
といったローマに敵対する
蛮族から常に脅威にさらされ
ている所……

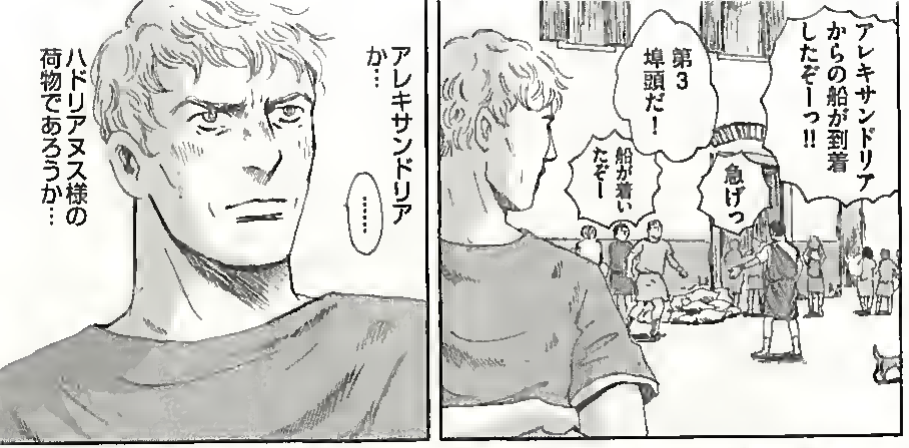
風呂に存分に浸かれ
なかったという理由で
もしあの男が属州を
しっかり守りきれ
なかったとしたら
それは
一大事だ…

……

……
どうしたもの
であろうか…

ザザー…ン

何か
良き知恵が
湧いてくれれば
いいのだが…



※古代エジプトの記念碑。ローマ帝国によって多くが略奪された。

そうか…

新しいオベリスクだぞっ！

……

いっそここで組み立て式の浴槽とボイラーを作ってパンノニアに運ぶというのはどうであろうか…

パンノニアまで大理石を運ぶとなると重量が重量なだけに時間もかかってしまうし壊れる公算が高い

だが何か大理石よりももっと軽い素材で作れば運ぶのも楽になる

大理石以外の素材で浴場を作ることは今まであまり考えた事がなかったが……

！

む!?

木材……

そういえば以前平たい顔族の世界へ行った時に木製の浴場を見た記憶が漠然とあるが

木材ならば石よりもはるかに軽いし運ぶのもずっと楽だろう

水に浸かりっぱなしの船ですら木でできているのだから浴槽だって作れないことはないはずだ…

木材で浴槽か…
作り方を考えねば
ならぬな…
おおーい
その材木は
こっち
だぞーっ！
なんでえ
そっちかよ！
ザザザ…
ほ～～～い！
ぽちゃん
ごごごん
!?

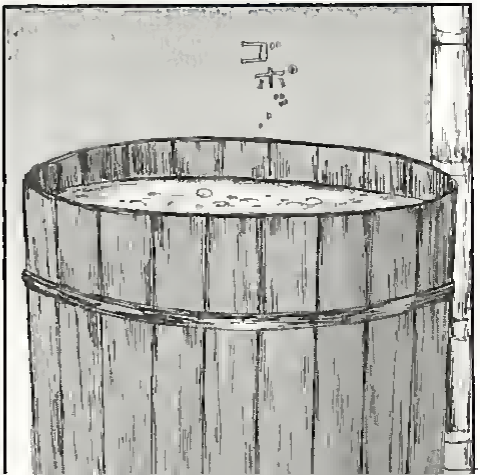
フコー
フコー

フコー
フコー
フコー

……

こらあ
シケっとって
火がつかんわ…

どれ
新しい薪
割って
くるかい


ゴポ

びしゃり

じゃばっ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ゴホッ
ザ
ザ
ハアッ
……
ハアッ
む!?
ポタ
ポタ
こっ
これはっ!?

樽!?
?
何故
私が樽の
中に…
ビシャ
ここ
……
オスティア
ではない!!
この空気…
ここは多分
平たい顔族の世界だ

そしてこの大樽…

……

ヒタ

ヒタ

ボイラー

…？

そうか
これは
風呂だ!!

……

ザッ

木でできた
簡易浴槽だ!!

樽の中に水を溜め
それをボイラーで
沸かすだけの単純な構造…

私が以前 マルクスの
師匠に作ったものよりも
はるかに簡単なものだ!

しかも良く見ると
この木材自体も
相当に年季が入っているから
恐らく何年も使われてきたの
であろう…

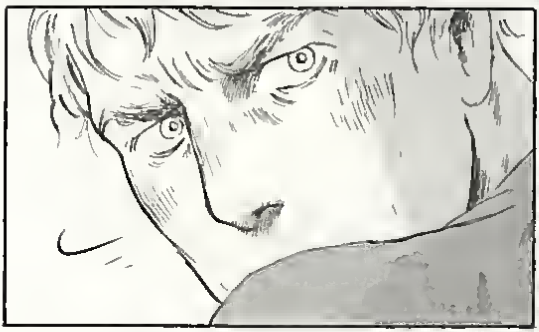
つまり
木材であっても
立派に
浴槽の素材になりえる
ということだ！

そしてこの大きさ
ならば 男一人が
湯に浸かるには
十分であるし…
馬車にそのまま
乗せてパンノニア
まで運ぶことだって
可能だ…

いよさあぁ～く
はぁ～～～
木ぃ～いをを～
切るぅ～～～

へいへいほぉ～
……
へいへいほぉ～

今のうちに
この浴槽の仕組みを
把握して
ローマに戻ったら
すぐに同じものを
作らせるとしよう！
樹脂で接着
しているの
だろうか？



ひっ

カリ
カリ
カリ

なっ
なんっ
なんなんだっ
オメっ!!
しっ
しっ
……
…こっ
こっちくん
なっ!!
私の名前は
ルシウス・
モデストゥ
ス…
突然 邪魔を
して申し訳
なかった…
もで?
はぁ!?
私は怪しい者では
無い そなたらの
風呂文化に感銘を
受け 色々調べさせ
てもらっている
おっ…
オメっ
わしの風呂さ
あんなこと
してくれてっ
どっ
どうしてくれ
るんじゃいっ
えっ!?
?
バラバラじゃ
ねえかっ
おらっ!

……
すまなかった…
どうしても衝動を抑えられなかったのだ…
……
だが案ずることは無い！私がちゃんと元に戻そう！
さわ
さわ
ああ～ダメダメっ角度をきっちり合わせねえとダメっ
ピシッと合わせねえとまた壊れちまう！
釘も打たなければ接着剤も使わねえでな……これが日本のワザってやつよ！
……
これは……
つまり私たちが石材で用いているアーチ構造と同じ概念だ
そうか…
わしも炭焼き屋で桶職人じゃねえがら詳しくはねえけどな……
おそるべし平たい顔族…

よっしゃっ
ひとまず直ったぞ!!
……
ポリポリポリ
あーもう3日も風呂に入っとらんから痒くてならんっ
こらっオメー
ホレっこれ持てや!
わしの風呂桶を壊した罰じゃ!
オメが湯を炊くんじゃいいな!?
わしは準備してくるでの!
……?

パチッ
パチッ
いよぉさぁくぅ〜
はぁ〜
木ィ〜〜〜を切ィ
るぅ〜
フコー
フ
フコ
へいへい
ほぉお〜
へいへい
ほぉお〜

フコー

はたぁらきぃ〜もォ〜のォ〜だよぉ〜

フコー

何の歌であろうか…実に味わい深い良い旋律だ……

へいへいほぉぉ〜

なんという長閑(のどか)さであろう…

この景観にぴったりの歌ではないか……

この国では木々の葉が鮮やかな黄色や赤に変化するのだな……

なんとも美しい…

へいへいほぉ〜〜〜

この老人の歌声とともに私の心に染み込んでくるようだ…

……

HEI HEI …HOU… ……

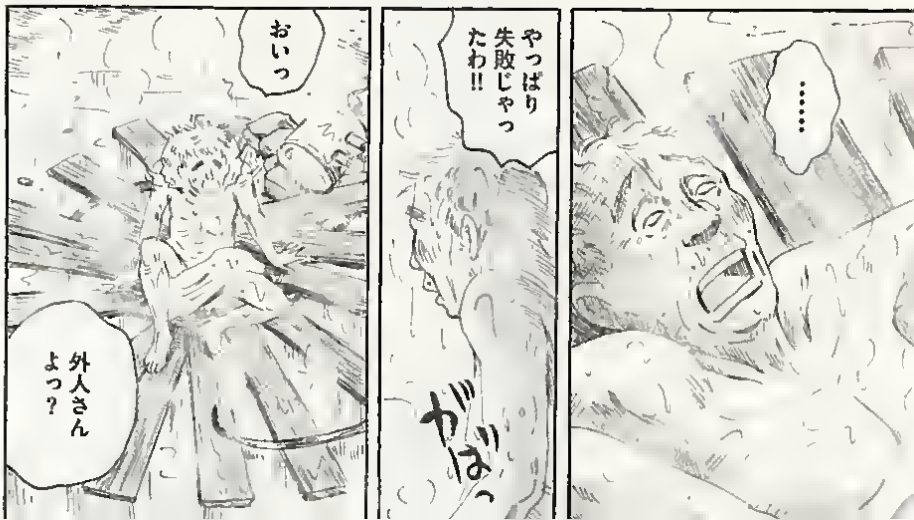
ハッ

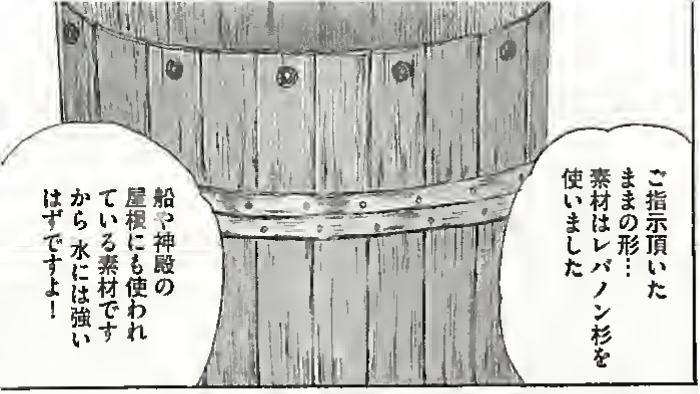
ふるふる

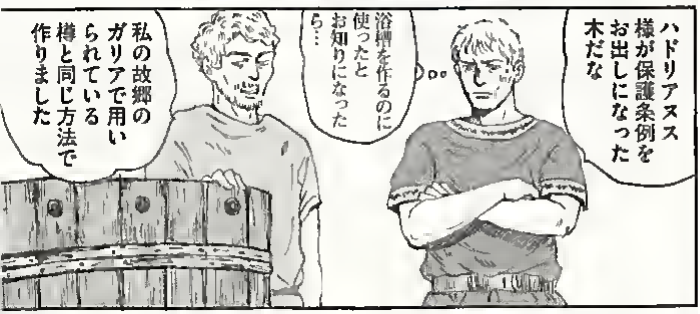
オメ……
ニヤリ
フ…
わらぁぶきぃ
やぁ〜ねぇ〜
にはぁ〜
へいへい
ほう〜〜〜
HEI
HEI
…HOOU…
……

ほしい〜
くずう〜がぁ〜
ふう〜るう〜う
よおう〜
フヨー
じわ
へいへい
ほう〜
じゃっ
HEI
HEI
HOUUU
よっしゃ！
じゃじゃっ
じゃじゃっ
ハチッ
じゃじゃじゃじゃ
じゃ
しゃ
じゃじゃじゃ
じゃじゃじゃ
…
じゃあーんっ
いよおおさあ
あああくううう

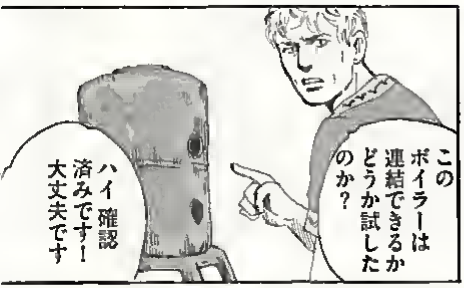
やっぱり


……
やっぱり失敗じゃったわ!!
がはっ
おいっ
外人さんよっ?

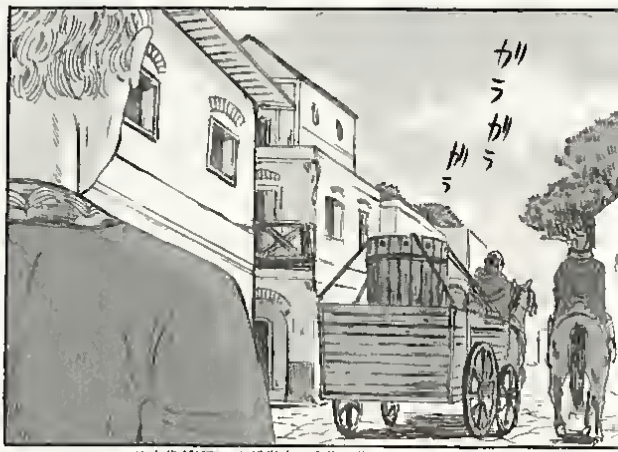

ご指示頂いたままの形…素材はレバノン杉を使いました
船や神殿の屋根にも使われている素材ですから水には強いはずですよ！


ハドリアヌス様が保護条例をお出しになった木だな
浴槽を作るのに使ったとお知りになったら…
私の故郷のガリアで用いられている樽と同じ方法で作りました

まあアエリウス・カエサルの為となれば陛下も間違いなくお許しになられるではあろうが…
よしいいだろう！


このボイラーは連結できるかどうか試したのか？
ハイ確認済みです！大丈夫です

ではすぐに出荷の準備を！



※古代ギリシアの哲学者。大樽に住んで思索をめぐらしたという。

2ヶ月後
カンパニア州バイアエ
※ナポリ近郊の港町
HEI HEI
HOU～
どうだ？今週中には仕上がりそうか？
はいなんとか間に合いそうです
よしっ
ルシウス技師ー書状が届いておりますが…
書状？
HEI
HEI
HOUUUU

…

アエリウス・カエサルからだ…

親愛なるルシウス
そなたの送ってくれた
木製の浴槽のお陰で
私はすっかり生き
かえることができた

ふはあ～

これで父上から
仰せつかっている
任務も無事果たせる
であろう
そなたには心より
礼を言う

ついでにここに
ローマの美しい女性が
2～3人いてくれれば
私の健康面は
より
完璧になるはず

こんなことは
そなたに
しか頼めないと思い
あらためて
お願いする次第

父上がこの依頼の
ことを知ったら
烈火の如くお怒りに
なられるであろう
からくれぐれも
内密に…

とにかく
パンノニアの娘は
田舎臭くて
ダメなのだ…

アエリウス・
カエサルより

知るかっ
ボケッ

ガン

ローマ&風呂、わが愛

ローマ人達が公衆浴場に毎日のように通っていた理由は、彼らが清潔好きだったとか、ゆっくりリラックスできる場所を求めていたからというだけでなく、仕事を終えた後は他に居場所が無かった、ということがあります。

今回のエピソードで、ルシウスが浴場のメンテナンスに訪れている街「オスティア」は、ハドリアヌス帝の時代も含めて長い間港町として栄えたローマ近郊の小都市ですが、ここは数ある古代ローマの遺跡の中でも、当時の特徴ある集合住宅「インスラ」が大変素晴しい保存状態で残されていることで有名です。

オスティアの石畳をぶらぶら歩きながらこのインスラの遺跡を眺めていると、そこでどんな都市生活が営まれていたのか、かなり具体的にイメージすることができます。古代のローマ市内には、高い物だと地上18メートルにもなるこうした高層建造物が、4万ないし5万近くも建っていたというのですから、その都会っぷりたるや、田舎から来た人達にとって度肝を抜かれるスケールだったに違いありません。

考えてみれば、当時ローマ市内だけでも人口恐らく200万弱、これだけの人々が暮らすには、どうしても居住空間が縦に伸びてしまうのもやむを得ない気がします。

ただ、現代のマンションと違うのは、階が上に行けば行くほど価値が下がり、そこに暮らすのは貧しい人達になっていく、ということです。

通りに面した地上階はだいたい店舗に当てられますが、2階には、現代のペントハウスになるのでしょうか、裕福な市民層がワンフロア全体を占める空間に暮らしていました。トイレはもちろん、可能であればお風呂を作る余裕もあったわけです。それが

130年前に外国に紹介された日本女性の入浴

vol.12

上へ行くほど作りも簡素で脆いものとなり、水道が届かないのでトイレも無く、最上階に至っては隙間風も雨漏りも当たり前、ただ寝るためだけのスペース、という有り様だったようです。当時のそんなローマの環境では、現代人のように「一日中家に引きこもってだらだらする」という概念は、お金持ち以外には持ちえなかったことでしょう。

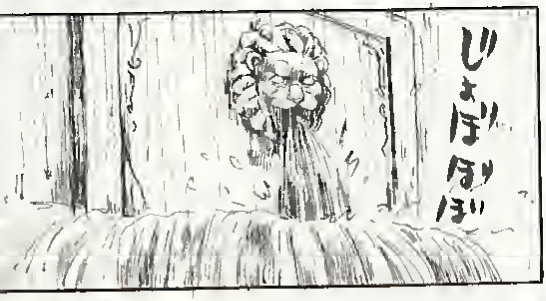
結果、窮屈な家屋に暮らすことを強いられる多くの人々は、広くて心落ち着ける公衆浴場でたっぷりと時間を費やすわけで……実際、このオスティアも、どこを向いても浴場跡だらけで、その必要性の高さを感じさせられます。

しかし、思えばちょっと前の日本だって風呂無しアパートなんてのは当たり前に存在し（今もありますが）、銭湯へは趣味嗜好云々以前に、必然的に通わねばならぬ暮らしの人達が沢山いたわけです。木桶のお風呂がある田舎の風景なんてのも、遠い昔の記憶の様で実はつい最近まで現実にあったものなのですから、日本文明の目覚ましい変化には驚くしかありません。

そんな中、なに気なくアメリカの浴槽サイトを見ていたら、シルバーや真鍮でできたスペースチックな木桶風呂の進化形みたいなものをいくつも発見しました。どれも「ジャパン・スタイル」と称されていますが、なぜ形状が木桶風呂でなければならなかったのか気になります。木桶イコールジャパンという独断的解釈は、何を根拠にしているのでしょう。個人的には、どんなお金持ちになっても、この形状の浴槽を欲しいと思う事はきっとないでしょうが、コレらに興味を持った人にその動機を聞いてみたいな、とは思います。

オスティアの高層マンションの下層部分。何気に今のイタリアにも普通にあるような雰囲気

第15話

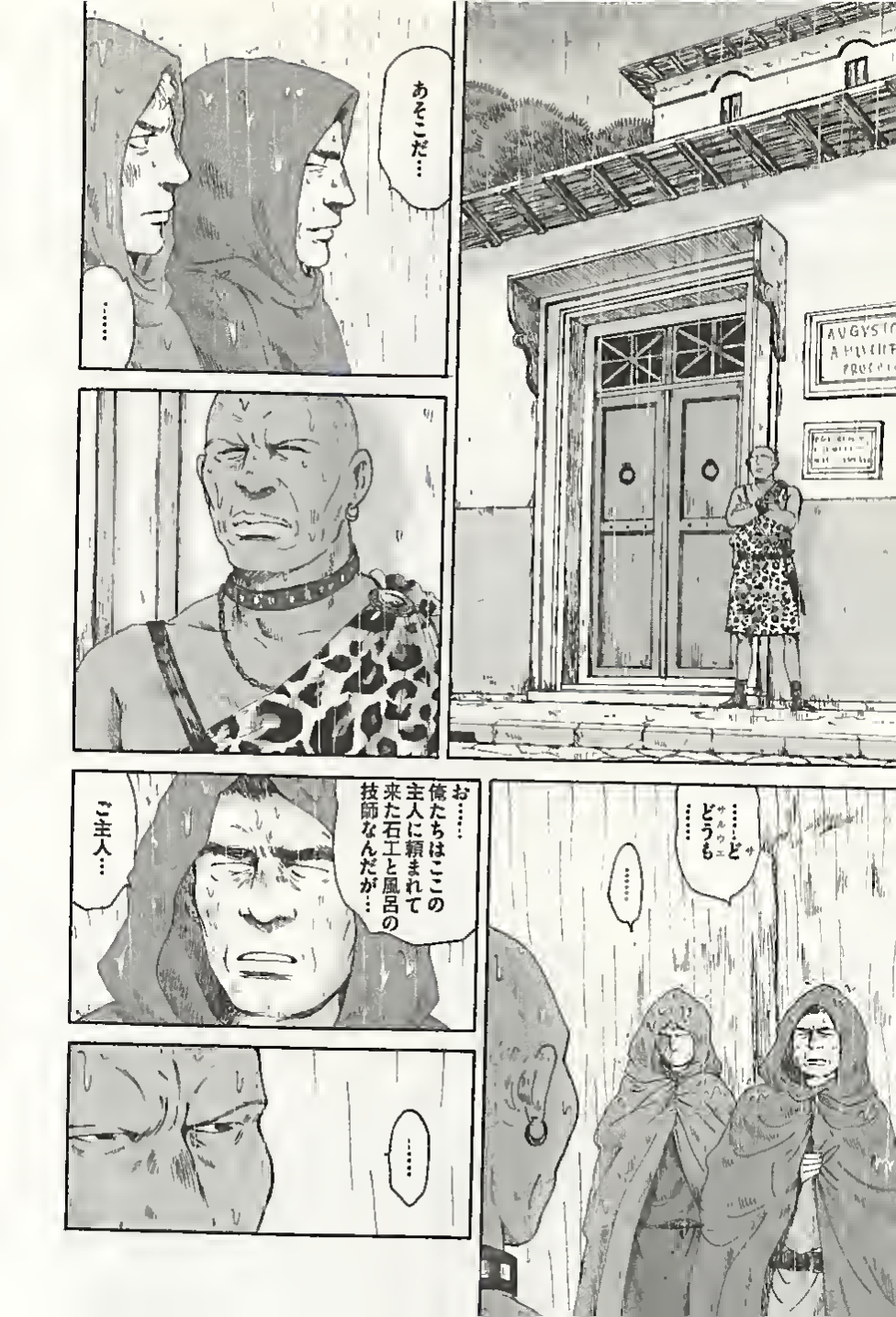

しょぼしょぼ

バニャ
バニャ

バニャ
本当はな俺だって忙しいお前にこんな事頼みたかぁねえけどよぉ…
バニャ
……でも先方がどうしても諦めてくれねえんだよ…

ホラっだってお前最近やたらと新しい風呂あっちこっちに作ってよ…
すっかりその分野では有名人になっちまっただろう？
……
※アウグスタレス＝神格化された歴代の皇帝（特に初代皇帝アウグストゥス）を崇拝する団体。寄付や慈善事業を行った。
※アウグスタレスの連中がよ
どうしてもお前じゃないとダメだって言うもんだからよ…
……
結社アウグスタレスか……
※解放奴隷＝当時、奴隷が主人の許可を得たり、金銭で自らの身を買ったりして自由になることが可能だった。
財を成した※解放奴隷の組織……
成金の集団…
やっでもよっホラっ！多分お前が思ってるほどそんなにヤな連中じゃないって！な!?
……
あんまり考え込むなやな!?ルシウス！

私は成金は好かぬ
仕事を引き受けるかどうかはまだ分からんぞマルクス…
……
あのなあ～ルシウスよ…
……今回の仕事は物凄く払いがいいんだよ……
お前はもう皇帝の専属だし金にも困っていないから仕事を選べるんだろうけど…
うちの工房には年寄りもいるし下請けの職人も入れてるから結構やりくりが大変なんだよ…
今回は俺もお前をつれて来るっていう条件で仕事もらってっからよ……
悪いとは心から思ってるよ…
でも今回だけは友を救うって事でよ！
頼むっ！な!?
……

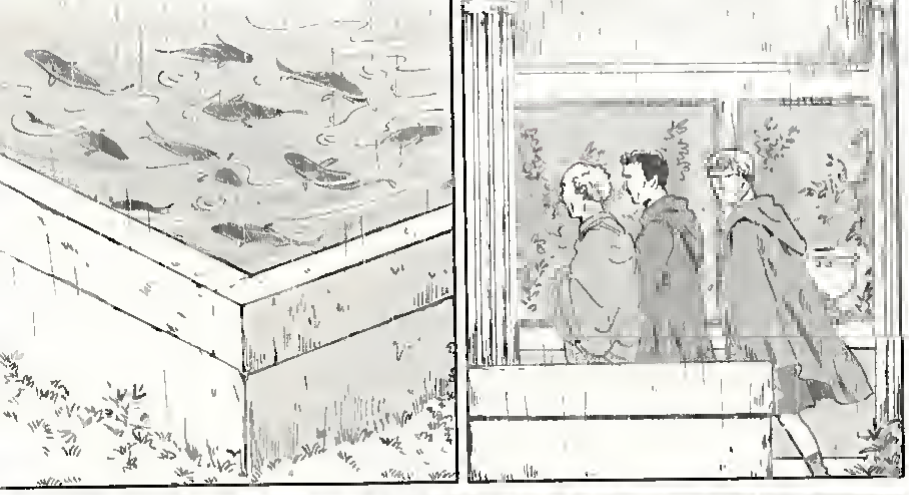

あそこだ…
……
AUGYSTO
……
……
……どうも
(サルウェ)
……
お……俺たちはここの主人に頼まれて来た石工と風呂の技師なんだが…
ご主人…
……

ゴ主人サマニ用カ？
……そうだ…
…ソコデ待テ
……
A·ALVCIA·HILLMEN
PROCVLVS·EIVLIANVS
DEDICAT ONE DECVRIONIBVS · ET ·
AVGVSTALIBVS CENAM DECERVNE
アウグスタレスは
ここで貧しき者たちに食事を奉仕した
…今の奴隷の様子といいこれ見よがしの彫り物といい…
この家の主の趣味の悪さが存分に伺えるな……
まーまーまー!!
頼むからいちいち意識しないでくれっ!!
バター

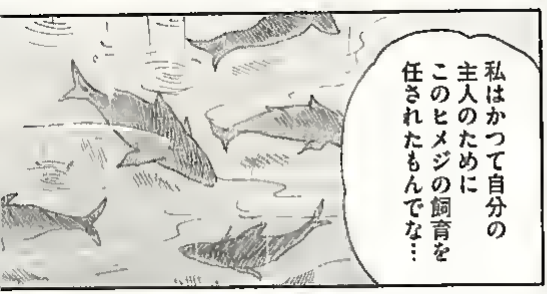
ゴゴゴ
ザー…
あっ ありがとうございますっ！
ありがとうございます……！
次の者！
あれはパンを奉仕しているのか？
ああ アウグスタレスは慈善事業も手掛けているからな……
ありがとうございますっ！助かりますっ！
うむ
…貧民へ食事の奉仕をすれば連中の株も上がるからな…
俺たちと違って連中は貧民のひもじい気持ちも良く分かるってのもあるんだろうけど…
……

ギィ…
待っておったぞ
そなたらが皇帝のお抱え石工と浴場技師か！
はい…その通りで
んじゃあさっそく
家の中に入ってくれ…
はいっ！
……

キラキラ〜
ゴテゴテ〜
ハデハデ〜
ハバハバ〜
……
いやあ〜
素晴しい
お宅ですね〜
ハハハ



……
生簀（いけす）？


私はかつて自分の
主人のために
このヒメジの飼育を
任されたもんでな…

あの当時の私は
この魚が
どれだけ
美味いのかを
知ることも
できず
なのに一匹も
死なぬように
必死に育てて
おった…

それはなあ
ヒメジの生簀
じゃよー
養殖して
おるのだ！
ハハハ

そして
今度は私が
思う存分
この魚の
美味さを
味わう番じゃ!!
キヒヒヒ
これは一匹
17セステルティウス
で卸しておる
ええっ!?
そんなに高価
なんスか!?
ちゃぷ…
ヒメジと言えば
とんでもない
高級魚じゃから
のう
こっちは
大儲け
じゃよ!
ワハハハ
……
貧民に
パンを配る
のも
結局は
偽善なのか…
し――っ
し――っ!!
ルシウス
声漏れてるっ
し――っ!!

……
浴場用地を
見てもらおう
かの
こっちじゃ
……
ここから
向こうの塀まで
全ての敷地を
アウグスタレスの
名誉と市民の
ために解放する
つもりじゃ
うへ
……
……
これだけの
広さがあったら
充分じゃろ？

こりゃあ
でっけえ浴場が
できそうだ!!

ここに
私の思い描いて
いた案がある

イメージは
「黄金の宮殿(ドムス・アウレア)」

わしは読み書き
できんから
奴隷に頼んで
作ってもらった
んじゃが……

黄金宮殿(ドムス・アウレア)…

ネロ帝の
黄金宮殿
よりも
遥かに
派手な…

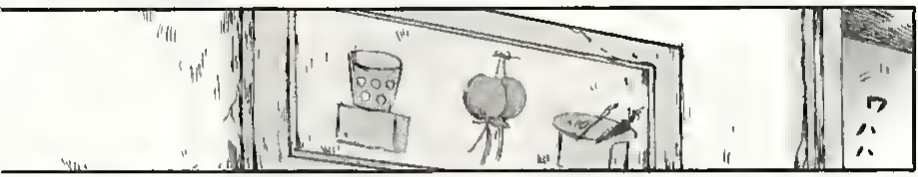
圧倒するような
輝きに満ちた
この世の物とも
思えぬ空間…

一歩その中に
足を踏み入れれば
その眩(まぶ)しさに
目も眩(くら)む…

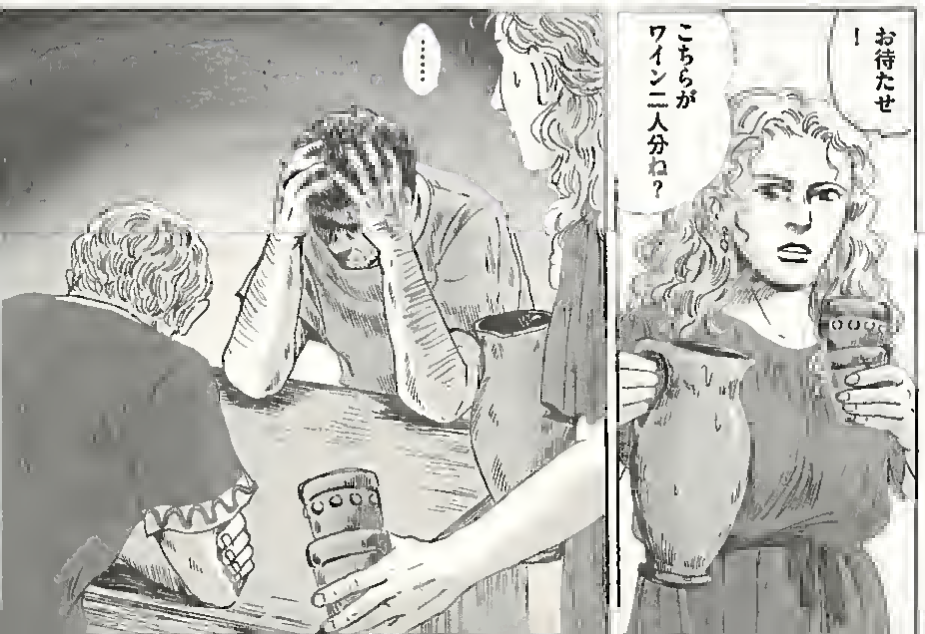
神からの恩恵を
全身で感じられる…
そんな浴場を作って
ほしいのじゃ!!

黄金の支柱に
黄金の浴槽…
官能的な
女神像…
黄金の
水盤…
庭園には孔雀を
放し飼いにし
各属州の
美女を接待係に
配置する…
……
私は個人的に
ハドリアヌス流の
洗練された嗜好は
好まぬ！
もっと単純に
人間の欲求を
満たす物が
好きだ！
で
彫刻
だがな
……
今までに
無いような
胸と尻の
でっかい
女性像に
してくれ！
胸をでっかく
ですね!?
ボイン
バイーンと!!
ワハハハハ

そんな恥ずかしい浴場を
この私に作れと……!?
ルシウスっできるよなっ!?
な!? ルシウス!!
な!!
っ……頼むっルシウス!!
やると言ってくれ…
……
異論があるかね?
とりあえずわしの思い描いている通りのものを完成させてくれたら報酬ははずもう!
成金趣味というのがまさかここまでのものとは……
……
ごごっ


ワハハ

ハハハ


お待たせ！
こちらがワイン二人分ね？
……

……
……ほんとにすまんなァルシウス…
……でも俺も滅茶苦茶気が重いよ…
俺はボインの彫刻を20体
お前はキンピカの浴場か……
……
……私にはあの主が気に入る浴場を完成させる自信が無い…
……
トクトクトク
だがここまで来たらお前の工房の為にも出来るだけの努力はするつもりだ…

そう言ってくれると有難いよルシウス…

本当にごめんな…

とは言ったものの…

AVGVSTOSAC

成金趣味は思った以上に手強そうだ…

……

チチチ…

この緑豊かな空間に黄金の浴場を作らねばならぬのか…

……

いかがかな
ルシウス技師？

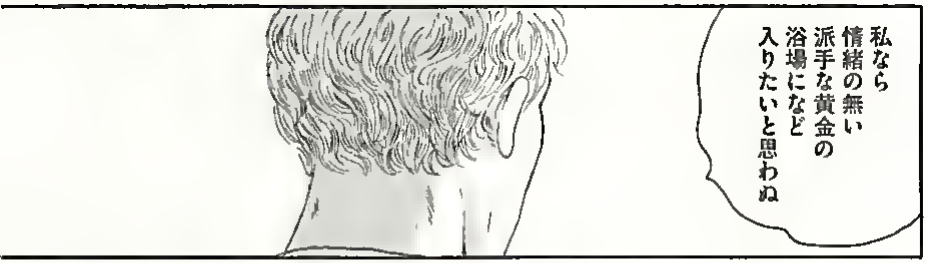
今回の仕事
引き受けて
くれて
わしは
嬉しいぞ！

我々
アウグスタレス
の良い宣伝にも
なるわい！

そなたが
手掛けた浴場は
確実に流行ると
言われておるでの！
……
ンシシシ

黄金の宮殿（ドムス・アウレア）の
ような
キンピカ浴場
期待しとるぞ！
ワハハハハ

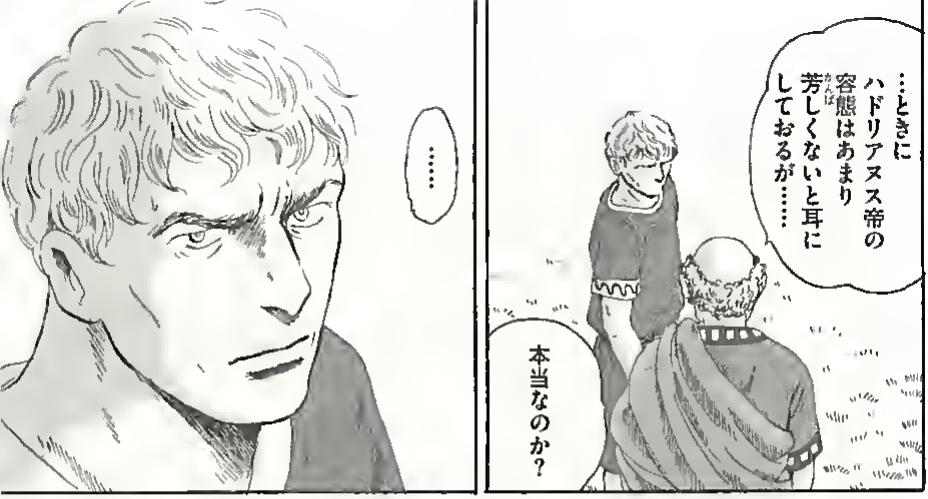
…黄金の浴場など
作ったところで
民衆は果たして
本当に喜ぶので
あろうか…？
何？


私なら
情緒の無い
派手な黄金の
浴場になど
入りたいと思わぬ

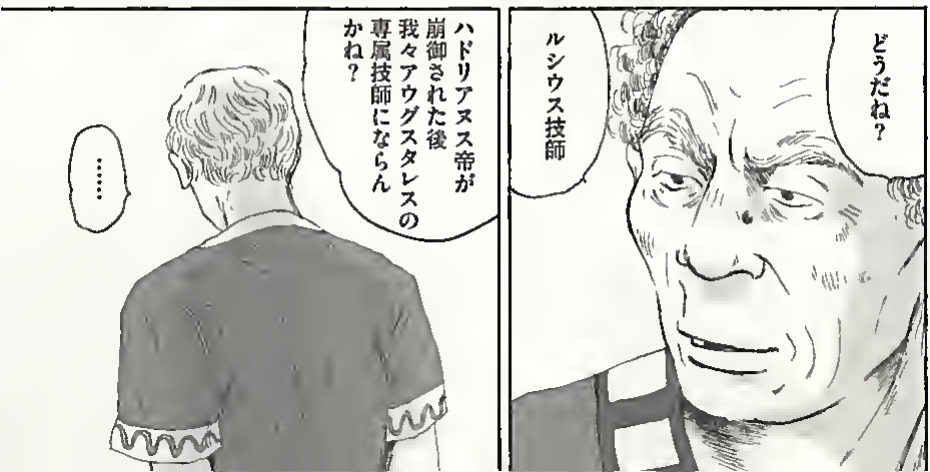
……
ルシウス
技師…
お前さんの
嗜好は完全に
皇帝の色に
染まっておって
民衆の本当の心は
見えていないよう
じゃの…
一体どれだけの
民衆が皇帝の
洗練された嗜好を
心から理解して
いると思うかね？

……
もっともっと
単純で分かりやすい
有難味を感じたい
のだよ
我々のように
奴隷という
下層の暮らしを
知っている
人間は……

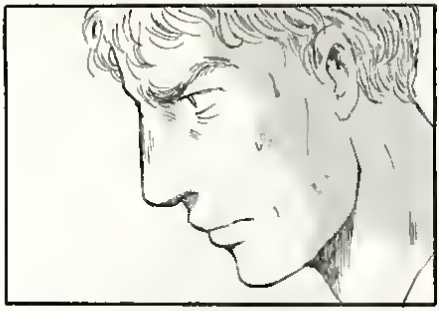
そして
それを実現
できるのは
皇帝ではない
我々のような
立場の人間
なのじゃ！
……
……


…ときにハドリアヌス帝の容態はあまり芳しくないと耳にしておるが……
本当なのか？
……

ハドリアヌス様は元気でいらっしゃる！
先だっても別荘でお会いしてきたばかりだ！
しかし後継者も選ばれて
……皇帝はご自身の寿命を悟っておいでなのでは？

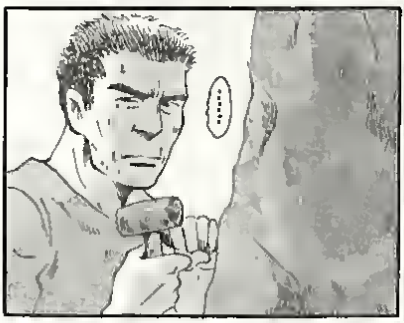

どうだね？
ルシウス技師
ハドリアヌス帝が崩御された後我々アウグスタレスの専属技師にならんかね？
……

皇帝からの
報酬の
倍を払おう！



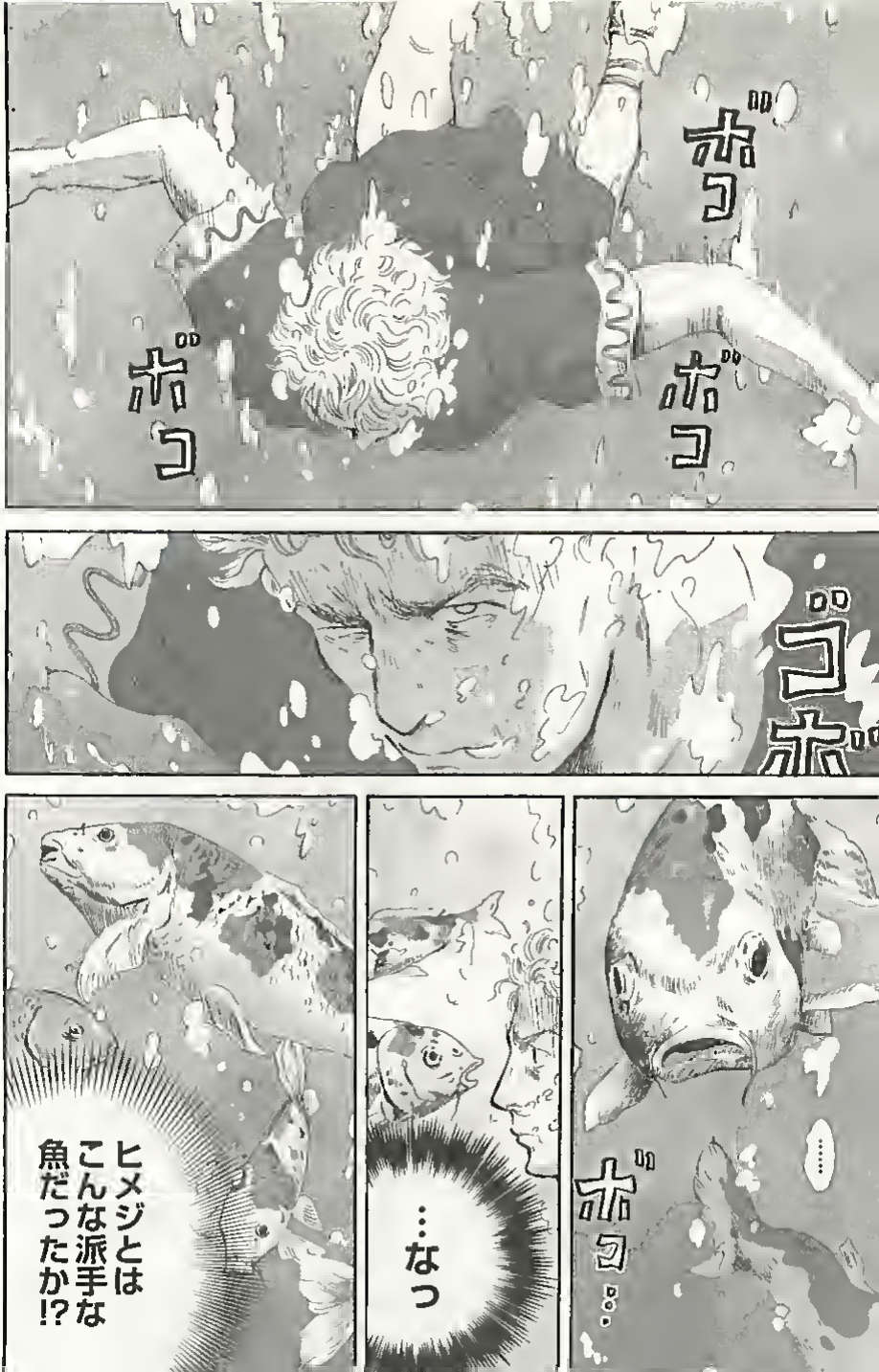
いかがかな？
ルシウス技師
…？

……私は
このローマ帝国と
皇帝陛下に大いなる
敬意を払って仕事を
している者だ……


……

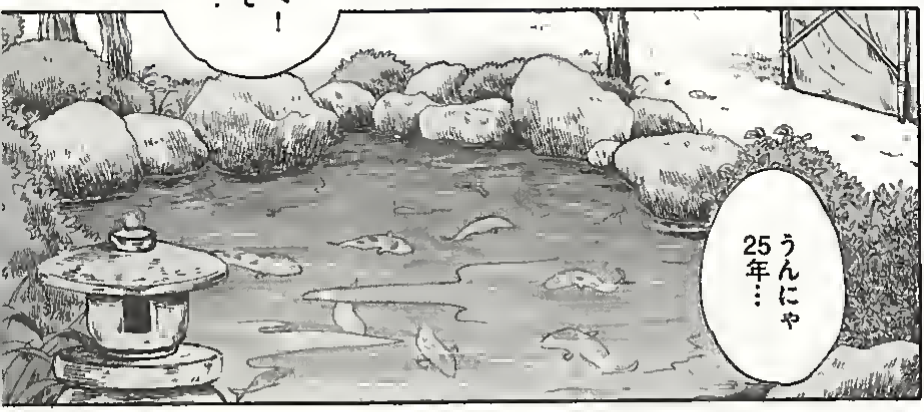
…今回だけこの様な
仕事は受けるが
私が陛下から
離れる事はありえぬ！

……
失礼！
……あっ
そっちは…
ガッ
!?
ヒメジの
生簀があ～っ!!
ドボ～ン


ボコ
ボコ
ボコ
ゴボ
ボコ
……
…なっ
ヒメジとは
こんな派手な
魚だったか!?

第16話

月見温泉大改装
5月末グランドオープン
I♥湯トピア
スパランド
(株)須佐建設株式会社
工事中につき ご迷
改装するべ！
って決めて
から20年…


うんにゃ
25年…

今まさに
ワシの夢が
叶いそうだ
っちゅーの！
わかる？
兄ちゃん！
……

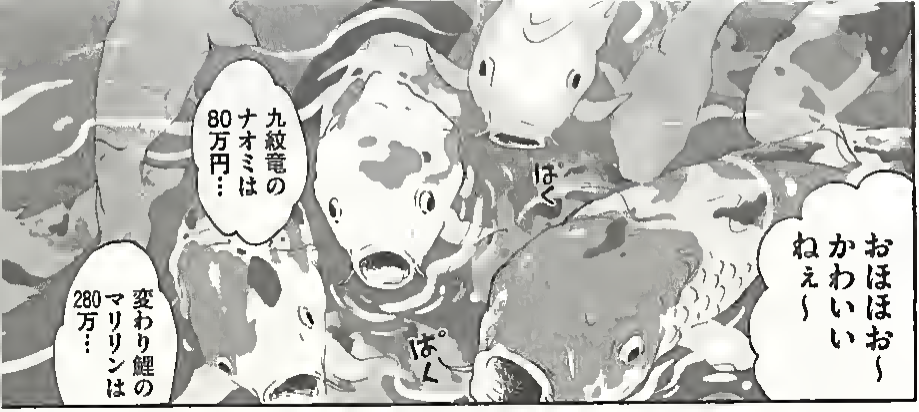
今までのオンボロ月見温泉旅館がガラッとモダンにリニューアル！
んでもってワシも儲かってウホウホだっちゅー寸法！

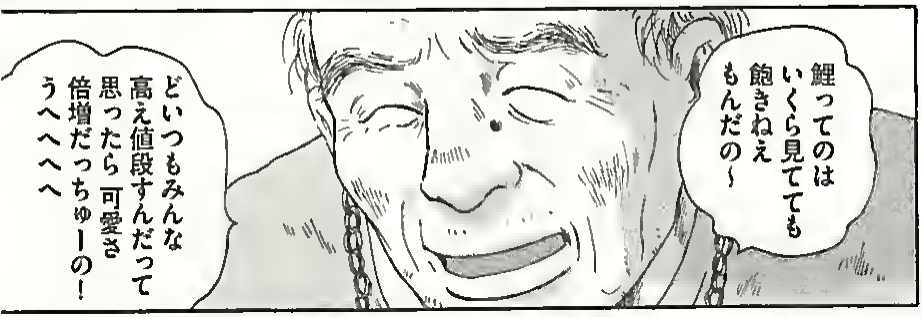
……話聞いてる？あんた
あっはい聞いてます！
VALENTI
ITALY

こっちこっちしょっと！

……
I LOVE YOU-roma
ゆ

こ〜いこいこい
こ〜い


おほほお～
かわいい
ねぇ～
ぱく
ぱく
九紋竜の
ナオミは
80万円…
変わり鯉の
マリリンは
280万…


鯉ってのは
いくら見てても
飽きねえ
もんだの～
どいつもみんな
高え値段すんだって
思ったら 可愛さ
倍増だっちゅーの！
うへへへへ

これって池を
埋め立てる
ってことで
すかね？
……

あのー
この池なんです
けども…
今 ここの設計図
見てたらこの辺り
一帯までが ローマ
風呂の敷地に
なってて…

埋めるわけ
ないっしょ！
あんた
無茶苦茶
言うねえ
え…
でも…

古代ローマに鯉っていましたっけ？あとこういう池とかも…
……
古代ローマに鯉がいたかどーかなんて関係ねえっちゅーの!!池はワシの財産!!
……ですが
この浴場のコンセプトは本格的な古代ローマ浴場ですよね？
吉田っ!!いいからお前黙ってろ!!
古代ローマつったらあんた!!
ゴージャス!!キンキラキンのピッカピカ!!鯉も全然OKだっちゅーの!!
……何怒らせてんだよテメー
ったく若いヤツは何考えてんだか!!

この浴場のために特注で作らせた!!ジャーン!!
巨乳ビーナス10体じゃい!!
……
……
ミロのビーナスみてえな貧乳誰も見ねえっちゅーの!!
君だってそうだろー!!
……
そらもうパイオツは景気良くボイン!!
ばいーん
これを浴場にズラ!ッと並べる!!これぞゴージャス!!
だがしかぁし!!本当の目玉はこんなもんじゃねえのだ!!
ずい
客が喜ぶったらあんたそりゃあ……

びかぁぁぁぁ
黄金
ピッカピカ
風呂桶
じゃあ!!
総重量
100キロ!
金無垢っ!!
……
…
ボインと
ゴールド!!
そんで
錦鯉っ!!
わしの考えとる
ローマ浴場は
民衆の憧れ
そのものじゃい!!
お兄ちゃん
ごちゃごちゃ
言わねえで
よろしゅう
頼む!!
ポフ
……

なあ吉田ァ…
ほんと
悪かったと
思ってるよ…

純日本家屋の
専門家である お前を
畑違いの
現場に連れて
来ちまってよう…

……

わかって
ますよ…

でも お前
うちの会社が
大変だって
わかってん
だよな？

…俺 本格的な
古代ローマ式の
浴場を作るって
聞いてたんで…

結構 自分でも
いろいろ調べて
きたんすよね…

日本建築じゃ
ないけど
面白そうだし
色んなこと
イメージして
たんすけど…

カラカラ浴場とか
イギリスのバースとか…

まさか
あんな感じの
浴場を頼まれる
なんて思って
なくて…

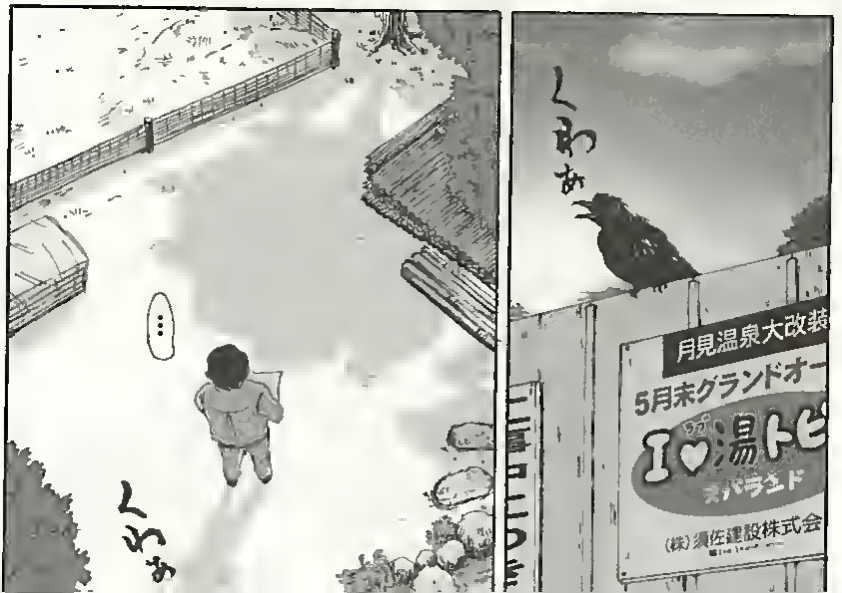
でもよー
別にお前ん家の
浴場じゃねーん
だしよ…

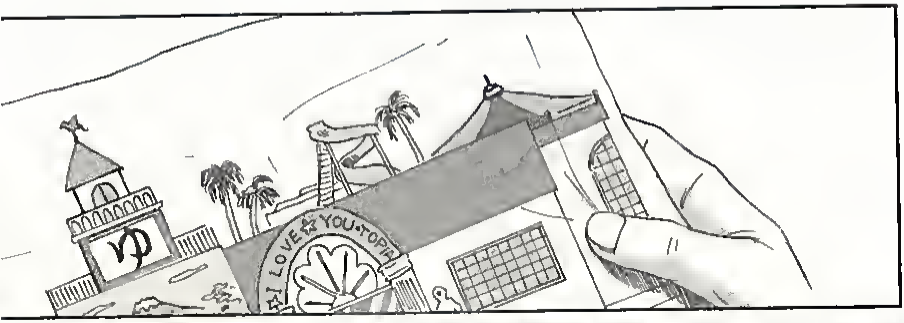
……

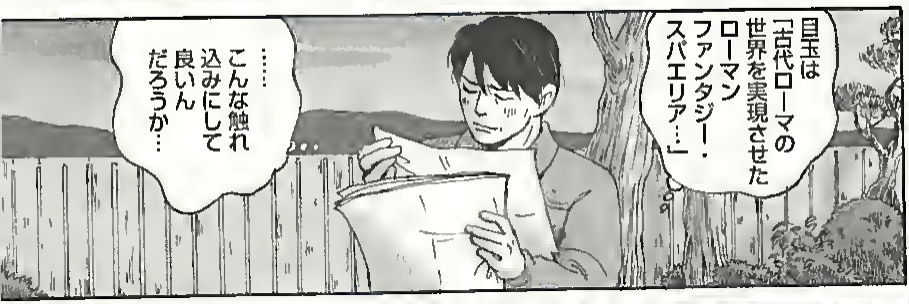
面倒なこと考えねえで
言われた通りやっときゃ
いいんだよ！ な！

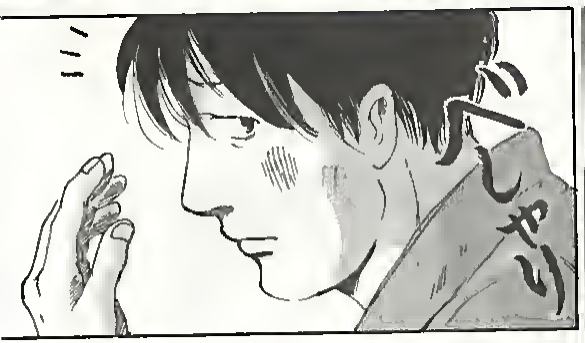
とにかくよ 今どき
こんだけ払いのいい
仕事どうしても
断るわけには
いかねえんだよ
……
お前だって
生活掛かって
んだし
甘いこと言って
らんねえだろ？
…忘れて
ません…
頼んだぞ
吉田ァ！
お前は
あくまで
うちの会社の
社員だってこと
忘れんなよ！

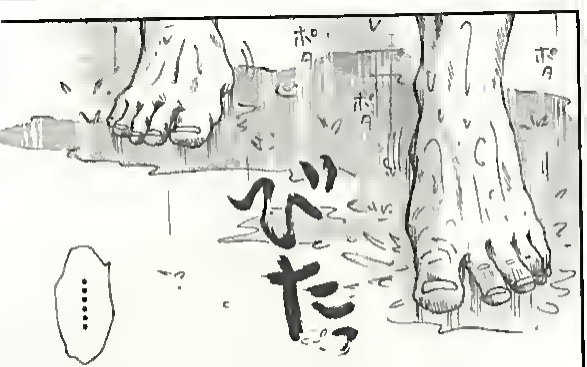
今日はもう
そこそこにして
早く帰れよ！
な！
ハイ


くぁあ
月見温泉大改装
5月末グランドオー
I♡湯トピ
スパラクト
(株)須佐建設株式会
…
くぁあ

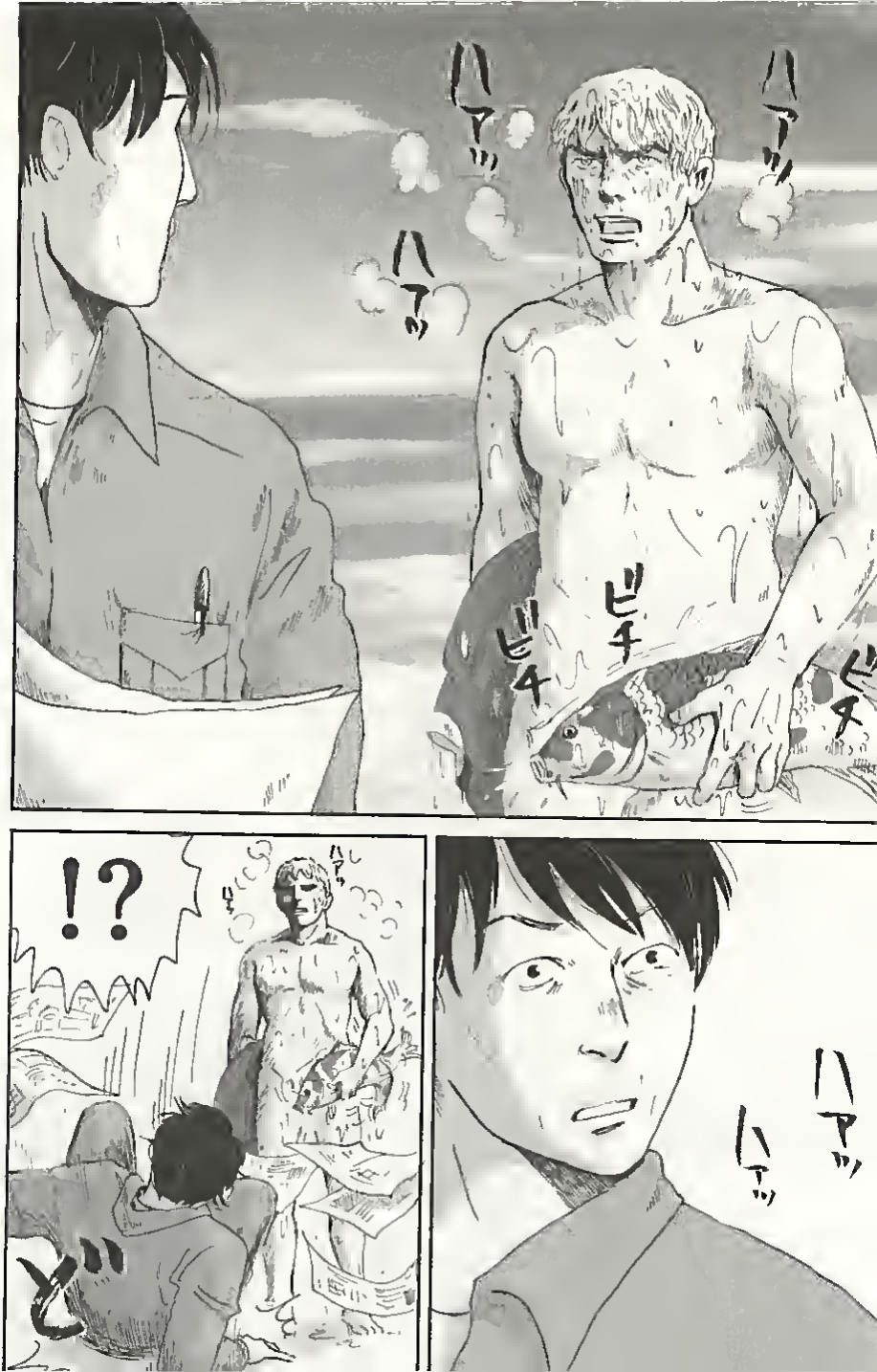

ゆ
LOVE☆YOU・TOPIA


目玉は「古代ローマの世界を実現させたローマンファンタジー・スパエリア…」
……こんな触れ込みにして良いんだろうか…


べしゃり

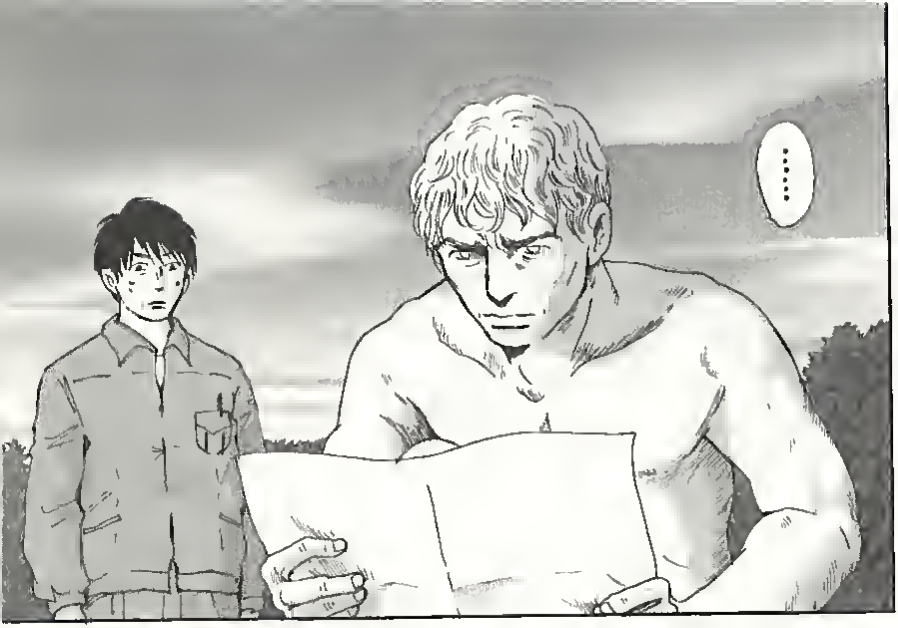

ポタ
ポタ
ポタ
びたっ
……

古代ローマ人が見たらぜったい泣くってこんなの！
ポリポリ
あーやる気しねーっ!!
べしゃ

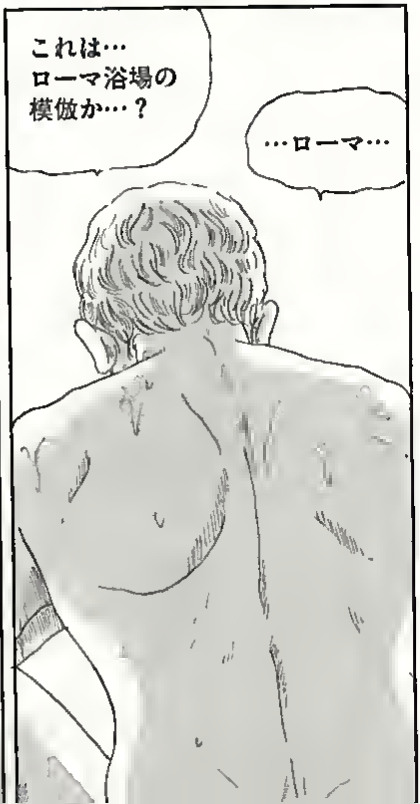

ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ビチ
ビチ
ビチ
!?
ハアッ
ハアッ
ハアッ

あ
あっ!!
ピク
ピク
うわーっ!!
300万円の
鯉っ!!!
わし
これっ
さんびゃく
まんえんっ!!
ひゃ〜っ
ウロコが取れ
ちゃってる
しーっ!!
これだけで
2〜3万円の
損害だっ!!
……

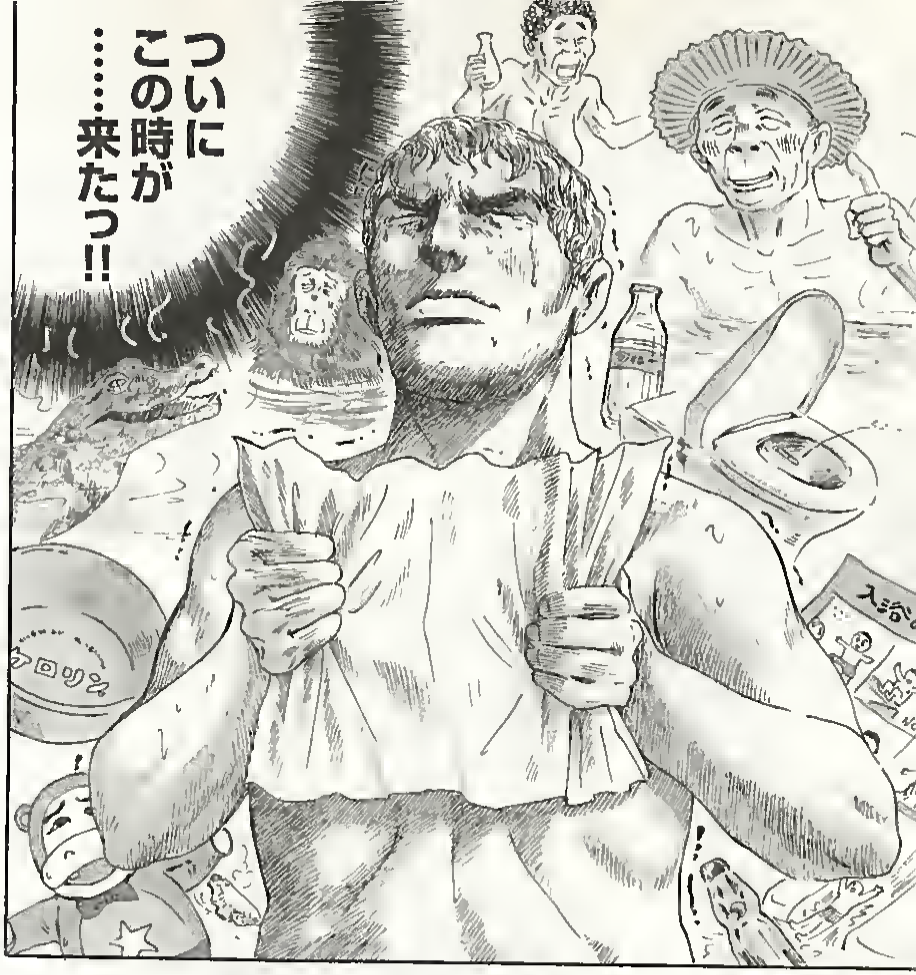
とにかく
早く池に
戻さないとっ!!
やばいって
……
だ
ぼしゃん
ふーっ…
何だろう
あの裸の外人…
鯉泥棒?
いや まさかな…
もしかして
ここで雇われてる
出稼ぎの労働者か
何かかな…
どうして
池に落ちたん
だろう…
ハッ!
バラ?


……

今ローマって言いました…？
…え!?


これは…ローマ浴場の模倣か…？
…ローマ…

ブッ
ブッ
ブッ
……
……
ふる
ふる

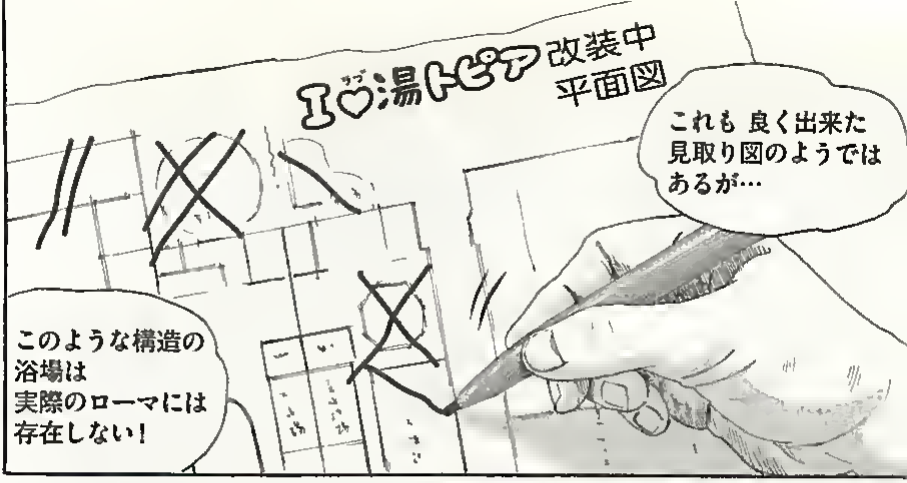


…やはり この地にも
ローマ帝国の威光は
届いていたのだ…!!

…は?

浴場設計士(同志)
よ!!

ガシ
わかった!!
私が協力しよう
ではないかっ!!
??
ふ……
……
ふ…ふ…ふ…ふ
ふえっく
しょーいっ
!!
わっ
!!
ズ…
……
あ俺
何か服貸し
ましょうか
!?
ち…ちょっと
待ってて
下さい!
確か 棟梁に
もらった
Tシャツが
どこかに
あったよな……
?
結局
俺以外にも
海外の技師を
呼んでた
んだな…
なんで
黙ってたん
だろう…
ちょっと安心

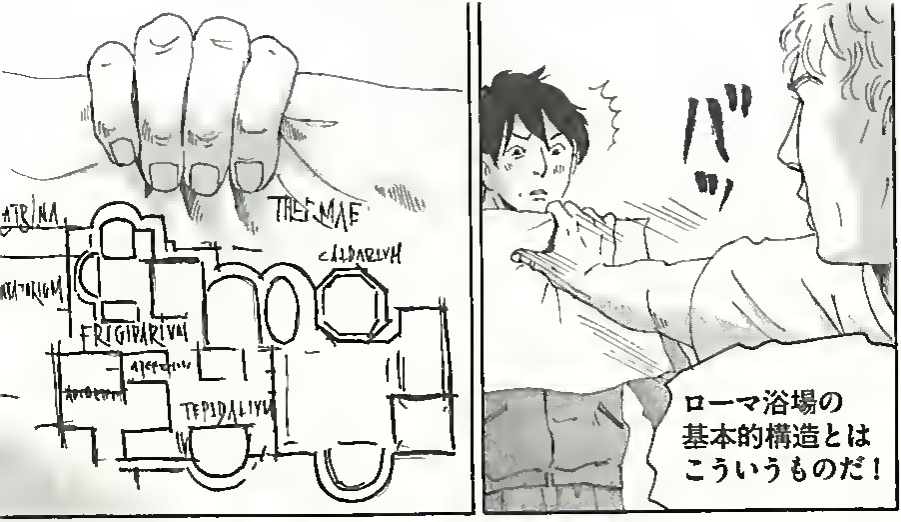

I♡湯トピア改装中
平面図
これも 良く出来た
見取り図のようではあるが…
このような構造の
浴場は
実際のローマには
存在しない!

……
……!
……
……
……!
…え?
わかんないっす
ハハハ…

……

しゃ
しゃ
しゃ
しゃ
……

……
……
これは
全部ダメって
いう
意味なのか…
Kyoto
どすえ


バッ
ローマ浴場の
基本的構造とは
こういうものだ！
FRIGIDARIVM
TEPIDARIVM

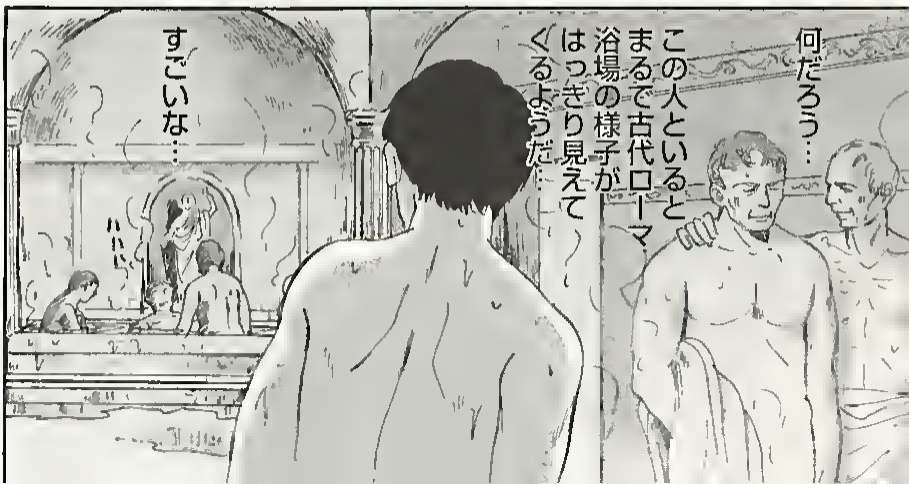
何これー？
すげっ
…あっという間に描いたぞ…！

やっぱこの人プロだな…
っていうか
……
西洋人の方がローマ建築とか絶対俺らより詳しいはずだもんな…
CALIDARIVM
ス…
これが※太陽暖房を用いる場合の浴場だ
今のローマで流行っている
※開口部をガラス等で塞ぎ、温室効果を高くした浴場。
ここに来る前に資料を読んできた古代ローマ建築のイメージと全く同じだ…
そうだよこれが古代ローマの浴場だ…
バッ!

こんなおかしな女神像でローマを象徴されては困る!!
なんなんだ!? この品の無いウェヌス(ヴィーナス)の像は!!
Kyoto
胸が不自然に大き過ぎるではないか!!
……
浴場に置くのにふさわしい像はこういった感じだ!
この辺りが熱浴室で…
この人随分熱心だな…
よし次っ!!
そして女神の胸もこれ位の大きさにするように!
浴場内には女神だけに限らず男性の神も配置すべきであろう!

なんだか
本当に
古代ローマから
来たみたいだ…
COGITO
UT…
私が思うに…
…SIC!
こうだ!
どすえ
……
床のことかな…
床は出来れば
モザイクだ
わかるか?
モザイク!
こういうのだ!
あーっ!
はいはい
モザイクっすね!
そのあたりには
脱衣場ってことかな…
この辺までだ!
Kyoto
ほー
天井は
アーチ型
なんだ…
楽しい…

なんか
楽しくなってきたよ
俺…!!
Kyoto


何だろう…
この人といると
まるで古代ローマ
浴場の様子が
はっきり見えて
くるようだ…
すごいな…

すみません！
向こうの現場まで
しか電気が通って
なくて…

?

Kyoto

そなたの
国の月は
とても美しい

美しい…

月と狩りの女神
ディアナ神が
現れそうな
月だ…

何言ってるか
わかんないけど
……
良い月です
よね…今夜
実に
神々しい
ここの温泉
本当は
「月見温泉」って
名前だったん
すよね…
改装するため
もう壊して
しまったけど
良い露天風呂が
あって…

……

ここに設ける浴室に
ついての案だ
一緒に来て
くれないか？
え…

何やら新しい
案が閃(ひらめ)いたぞ
平たい顔の
技師よ！
？
Kyoto

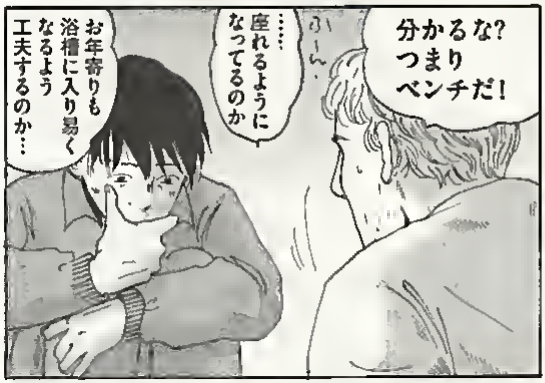
何だろう？
何か思いついた
っぽい雰囲気
だよな…

ここまでを浴場の壁とする…
ズズ…
そしてここには開閉式の窓を設置し…
夜には解放して外の池と月が見えるという仕組みだ!
言わんとすることは何とか判る…
ズ…
この浴場から見える美しい月をディアナ神に捧げるべきだと思わぬか?
私なら迷わずそうするが!
ガッ
!?
なんだ?この大きな塊は…!?
Kyoto
どすこ
あ…
それはっ……!
サッ
?

こっ こんな品の無い浴槽を神聖な月が見える ディアナ神の浴場に置く気か!?
何だか怒ってるな…絵で説明できるかな…
ゼカーッ
!!
……これで判ると良いんだけどな…俺が選んだんじゃないってこと……
成金の親父って判るかな…
金
……!
はぁ
…同志よ…
何処(いずこ)も同じだな…

第17話

ワン
ワオーン
……
カリ
カリ


分かるな?
つまり
ベンチだ!
……
座れるように
なってるのか
お年寄りも
浴槽に入り易く
なるよう
工夫するのか…

浴槽の外側の側面は
段差を付けて
腰掛けられるように
する……
Kyoto

……
とん
とん
残る
問題は
ただ一つ…

うん
良い案だと
思いますよ
先輩!!

……
……
ギラ
ギラ
これを
どうするか
……だ
ハ～～～
ヨッケ
コマコマ
ほんっとに
凄い
存在感だよ
なあ～
……
Kyoto
どすえ
……

……
金閣寺っ!!

わしっ

そうだ
……
これだって
「金」なんで
すよね…

……
なのに
ちっともケバくない
ちっともイヤらしく
ないっ…

金としての
威張り腐った
自己主張が
全く表に出ない
謙虚さ!

↑金蒔絵重箱

尾形光琳の
屏風→

だけど
他の色には決して
真似のできない
高貴な味わいと
輝き…!

↑九谷焼の金錦絵

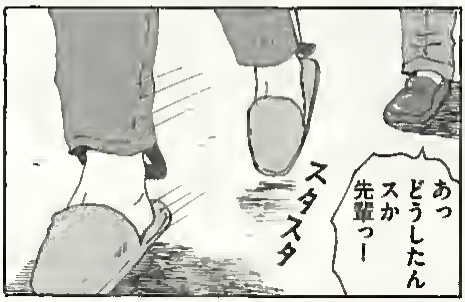
…でも
なあ~!
古代ローマの
風呂に
日本の伝統美なんて
マッチするわけ
ないんだよなあ~

……

この金色の何やら神殿らしき建物のことか…？
一体 この服を見て何をゴチャゴチャ言っているのだ…？
バサッ

神の宿る気配…
え？

黄金であれど神の宿る気配があれば上品な荘厳さが醸される…
…そうか!!


あっどうしたんスか先輩っー
スタスタ

DIANA

……
つまりこういうことだ!!
カリ

D…ダイアナ？
DIANA
そしてこれは例の金の浴槽だ…

狩りと月の女神であるディアナ神をこの浴槽の上に設えれば金の輝きも神々しいものになるはずだ!

要するにこのダイアナとかっていう女神像と浴槽を一緒にしろってことなのか…

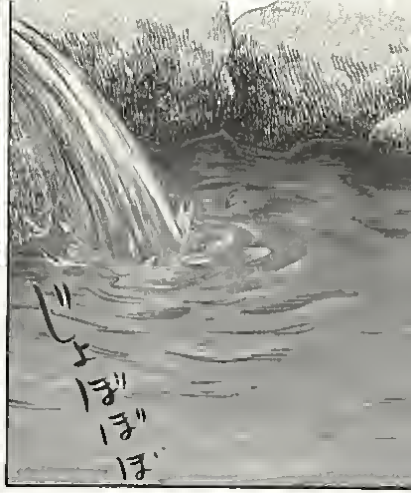
…確かにそうすればこのピカピカも荘厳な感じになるはずだよな……

問題はこの浴槽をただの装飾目的で使ったらあのオヤジがどんだけ激怒するかってことだ…
へっくしっ

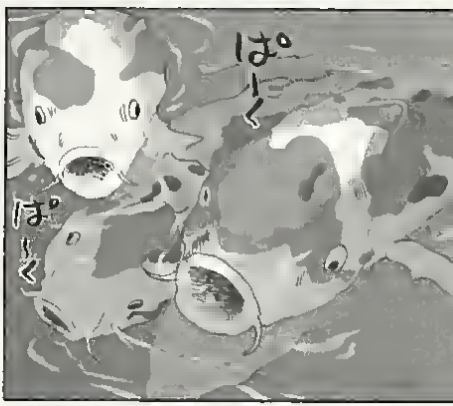
あっ 先輩! 大丈夫っスか!?
……
俺 今あったかいコーヒー買ってきますんで!!

ちょっと待っててくださいねっ!!
どこかで顔を洗いたいものだが…

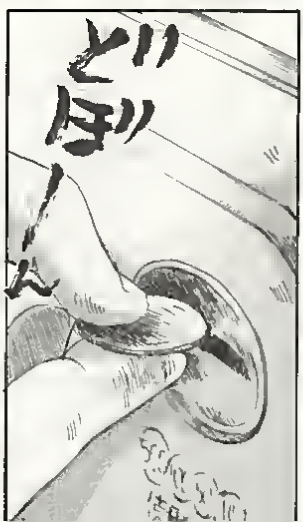
仕方がない
この池に
流れてる水で
洗うと
するか…
Kyoto


じょぼぼぼ…

色は
美しいが
気味の悪い
魚だな…
じゃば〜

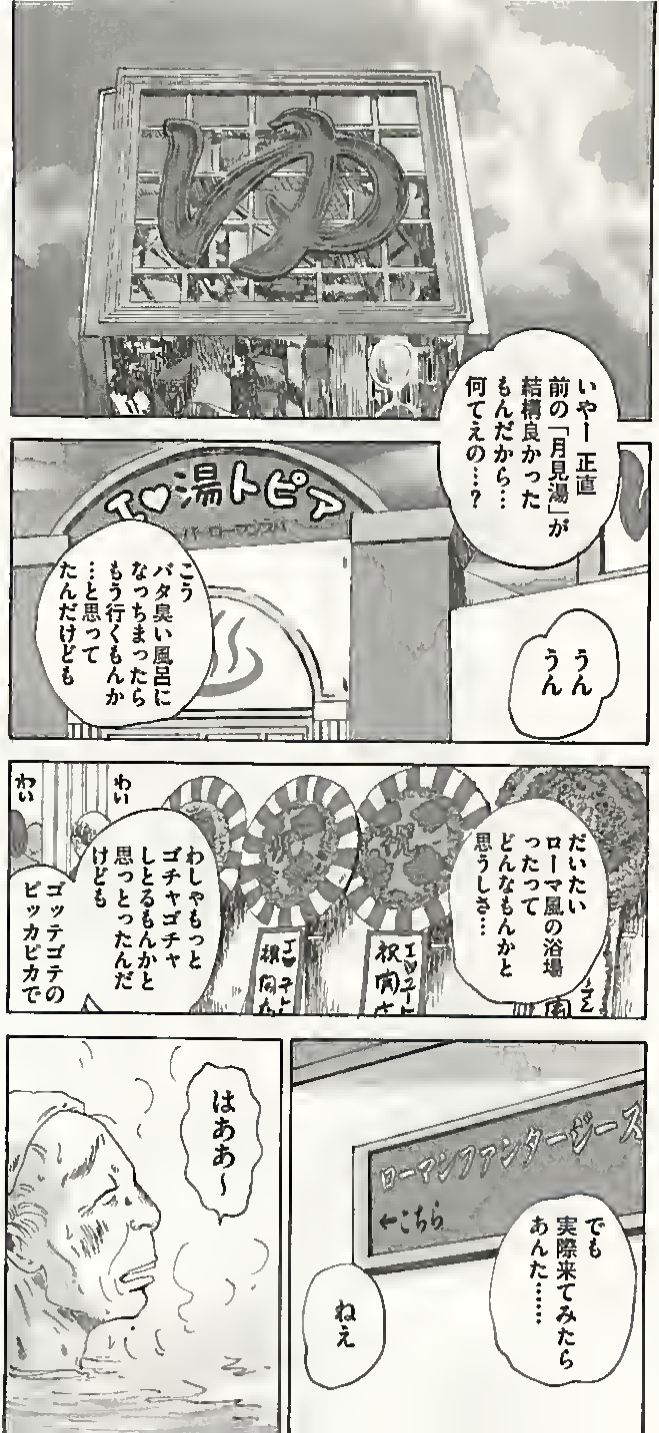

ぱ〜く
ぱ〜く

ん？
なんだ
今の音…？
何か
池に落ちた
みたいな…


とりほ！

コーヒーは
ブラック
かな…？

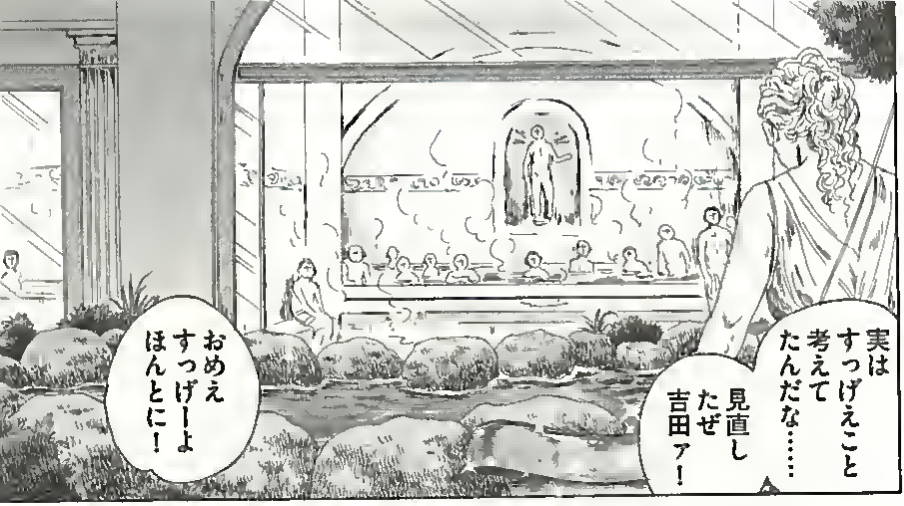
センパーイ!
コーヒー買ってきましたよー!
先輩?
あれ?
……どこ行ったんだろう……
コッケコッコー
……
まあ朝だし…帰ったのかな?
あのオヤジ絶対許してくれねえだろうな…
…こんな風呂……
…いやでも俺はやるぞ!!
先輩を信じて突き進むぞ!!
DIANA


ゆ
いやー正直前の「月見湯」が結構良かったもんだから…何てえの…？
湯トピア
うんうん
こうバタ臭い風呂になっちまったらもう行くもんかと思ってたんだけども
だいたいローマ風の浴場ったってどんなもんかと思うしさ…
エッチに松阪肉
わいわい
わしゃもっとゴチャゴチャしとるもんかと思っとったんだけども
ゴッテゴテのビッカビカで
ローマンファンタージース
←こちら
でも実際来てみたらあんた……
ねえ
はあぁ〜

3ヶ月後…

これはこれで
何とも落ち着き
ますわ…
ほんとですよ
ねえ…
ワハハハ
何てんで
しょうね
西洋風で確かに
豪華なんだけど
妙な「わび」も
あって…
おいいこと
言った！
ああ
そうそう！
いや…
そんでまた
この時間帯
ってのが
最高なんだね
……
月見湯の風情が
そのまんま
残ってて
月明かりが
きれいな
もんだ…

あの池の横に置かれた金の浴槽と彫刻ありゃ正解だね
西洋の女神様だろうかねぇ…
月の光に照らされて実に美しい……
金の神々しさ金閣寺を思い出させますなあ…ハハハ
いやあお兄ちゃんあんた本当にいいもん作ってくれたっちゅーの!!あんがとねえ!!
かはは
バシバシ
……
おほほほ
ホンット~にようやってくれましたっ!!
この「ローマ風呂」のお陰で雑誌やテレビやら取材の山ですわ!ハハハ
ROMA
ローマンファ
ぞろぞろ
……俺も最初はお前のアタマがイカれたんだと思ってよブン殴りそうになったけどよ…
……


実は
すっげえこと
考えて
たんだな……
見直し
たぜ
吉田ァ！
おめえ
すっげーよ
ほんとに！

全ては
あなたが
いてくれた
お陰です…
センパイ!!

俺も
もっともっと
頑張って
きっといつか
あなたのような
素晴らしい
建築技師に
なってみせます……!
いつか
きっと…
何っ!?

今 わしが
せっかく
職人に作らせとる
黄金の浴槽を
装飾に使いたい
だと!?

人間が
入らねば
黄金にした
意味が
無かろう!!

聞いてるのかっ
ルシウス技師!!

……

……

せっかく民衆に
目で楽しめるだけで
なく 肌で感じられる
黄金を提供しようと
いうのに

そなたは
わしの慈善心を
妨害しようと
いうのかっ!?

そこまで勝手に
やっていいとは
言っては
おらんぞっ!!

カーッ

……では
聞くが…

……
黄金と
神となら
民衆はどちらに
より有難味を
感じると
思うのか？
なっ
何だと？
……
黄金という色は
神々しさを
放ってこそ
有難味の醸される
もの……
神々にふさわしき
色と輝きだからこそ
使い方を間違っては
ならぬのだ
民衆が
寄ってたかって
垢まみれにした
金なぞそんなに
ありがたいと
私は思わぬが？
……
……
まあ
まあ
まあっ！
ふたりとも
落ち着いてっ!!

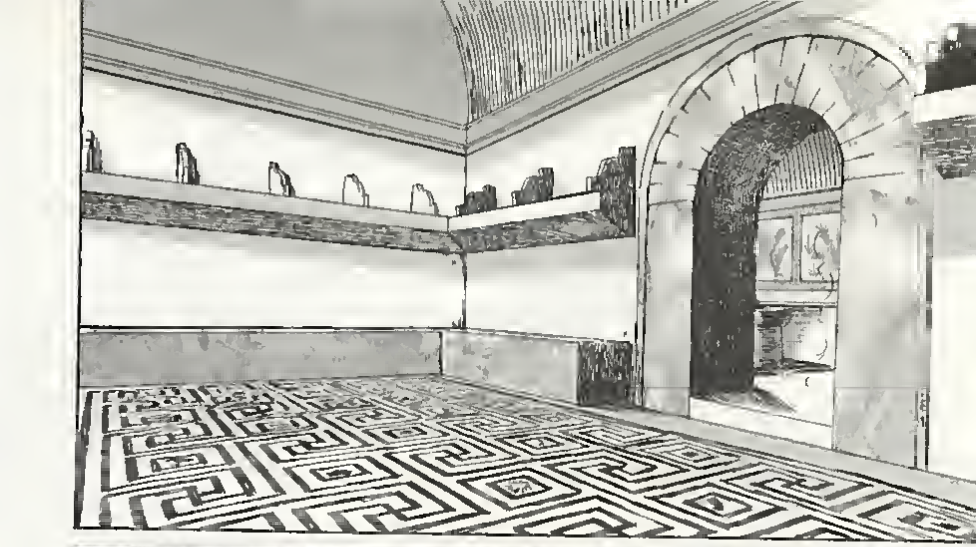
ご主人…
ひそ
ひそ
あいつちょっと変人なんでいきなりおかしなこと言いだしたりするんですけど…
けどなんじゃっ！
今日は
アイツ…濡れた後に閃いた案でハズしたこと無いんっスよ！
ホントなんですー
だからここはひとつアイツに任せてみてくださいよ……ね？
……
……
夕刻の月か…
平たい顔族の国で見た月は美しかったな…
SEMPAI!
あの平たい顔の技師も今頃 頑張っているであろうか……

わいわい
わいわい
わいわい
今日から一週間無料開放だとよ！
でも夕暮れから開けるってのはどういうワケなんだろうな…

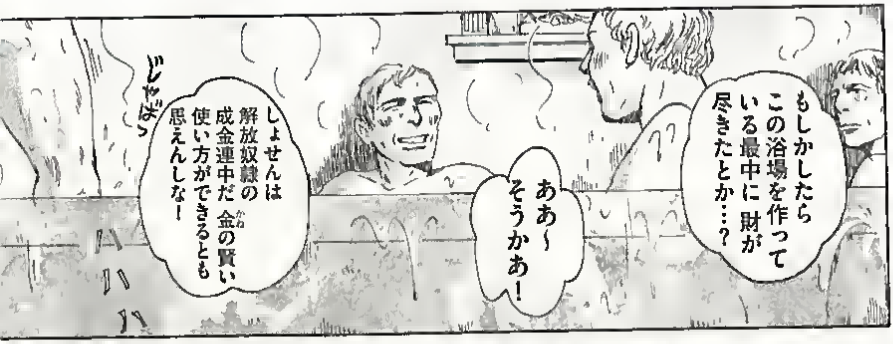
え？今日オープン!?
お扉が開くぞ！
てめえ押すな！

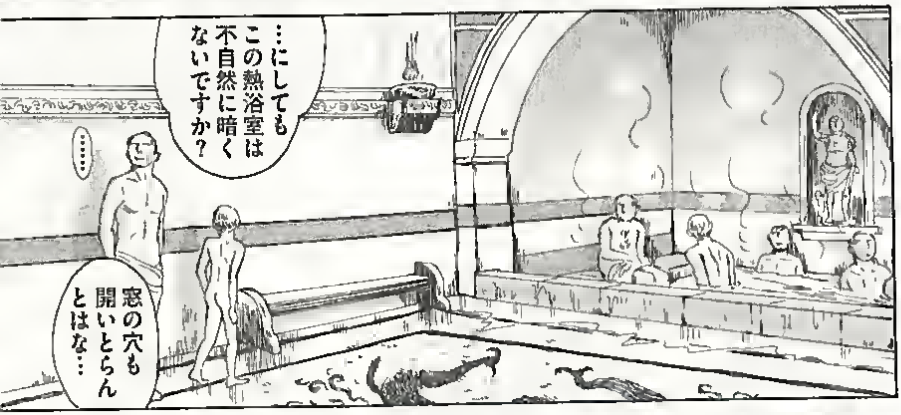
3ケ月後…

ギィ…
さぁどうぞお入りください！
わっ
一番乗りだあ～っ!!



…アウグスタレスのことだからもっとピカピカの派手な浴場かな…と思ったら…
…別になんてこたあない古いタイプの浴場だな…
古臭い上に地味？あんまり色も無いっていうか…
じょぼぼぼぼ
おまけにこんな暗くなってから解放されてもなあ…
運動するにも灯りが足らないし…


もしかしたらこの浴場を作っている最中に財が尽きたとか…？
ああ～そうかあ！
しょせんは解放奴隷の成金連中だ金の賢い使い方ができるとも思えんしな！
ジャバッ

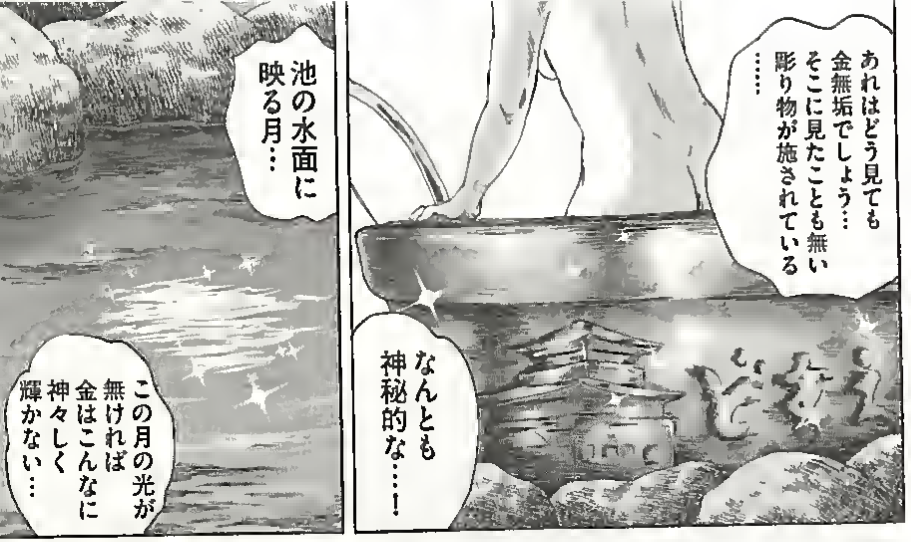

…にしてもこの熱浴室は不自然に暗くないですか？
……
窓の穴も開いとらんとはな…

ん？
あそこはもしかして開くんですかね？
ガコ
ガコ
キィー

おお

あの
悩ましき
後ろ姿っ……！
月の女神
ディアナ！

なぜ後ろ向き
……!?
こっちを振り返って
ほしい……
見ろよ！
ディアナの
座っている
浴槽……！


池の水面に映る月…
この月の光が無ければ金はこんなに神々しく輝かない…
なんとも神秘的な…！
あれはどう見ても金無垢でしょう…そこに見たことも無い彫り物が施されている……

なるほどな…納得がいくな
そうか…そのためにわざと他を地味にしたというわけか

ルシウス技師
……そなたの言うとおりであったな
……
アウグスタレスもなかなか侮れんな…

どんな巨大な金の塊でも僅かな金が放つ神々しい輝きには及ばぬ…

……

……金はまさに神の色なのじゃなあ……

そなたはさすがじゃ

皇帝陛下が手放したくないのも分かるわい……

礼を言うぞルシウス技師！

……だが私も平たい顔の国の美しい月と

あの黄金神殿が描かれた服があったからこそ金の価値を理解できたというもの……

平たい顔族の力を借りずしてこんな案は決して思いつかなかったであろう…

ルシウスっおーい!!

…よかった！
見つけた！
マルクス
どうしたのだ
慌てて…
げっ 元老院の
ナッ…
ナントカッ
ていう
オッサンがっ
ハア
ハア
至急 お前に
用があるって
……
元老院？
わからんけどっ…
皇帝に何かあった
のかもしれんぞっ
……！
ハア
ハア
何っ!?
陛下の身に
何がっ…!?
だっ

ハア
ハア
わたしがルシウス・モデストゥスだが？
…モデストゥス技師…

私の名はアントニヌスと申します
突然で申しわけないのだがすぐに一緒にティヴォリへ向かってもらいたい…

※皇帝の別荘

まさかっ皇帝陛下がどうかされたのですかっ…!?
いや…
皇帝は何とかお元気でおられるのだが……
実は…次期皇帝のアエリウス・カエサル様が……
……えっ!?

ローマ&風呂、わが愛

ペトロニウスという皇帝ネロの側近が書いた、『サテュリコン』という風刺小説があります。フェリーニが映画化したことでも有名ですね。この小説の中に「トリマルキオの饗宴」と呼ばれる場面があり、派手な衣装に身を包んだ解放奴隷トリマルキオの、とんでもない工夫と演出を凝らした宴会の様子や、見栄からさも教養があるように振る舞い、それがバレて笑い物になるというエピソードが描写されています。

巨大な富を得た元奴隷である「解放奴隷」のイメージを強烈に印象付ける、この「トリマルキオの饗宴」を読むと、厳しい階級社会のローマにおいては、奴隷という位置付けから解放されても、元々自由人である生粋の裕福なローマ人にはなかなか受け入れてもらえなかった事情が良くうかがえます。

ちなみに、帝政期の古代ローマにおける社会階級は、大きく区切ると、ローマ市民権を所持している「自由人」(ingenui)、「被解放自由人」(liberti…これが解放奴隷)、「奴隷」(servi)、「外人」(peregrini)の四つに分類できます。「外人」は、ギリシャなどローマの支配下に置かれた国の人達でローマ市民権を持たない者の事を指しますが、『テルマエ・ロマエ』の世界でもし日本がローマの属州下に置かれていたら、平たい顔族もこの「外人」のカテゴリーになります。そんな「外人」よりも、ローマ市民権を所持する解放奴隷は遥かに楽な暮らしを許されていたそうですが。

この解放奴隷、一体どのようにして奴隷の身分から解放されるかというと、「主人が亡くなった時の遺言状によって」といった形が一般的だったよ

フェッリーニ監督の映画「サテリコン」の1シーン

©2009 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc.
All Rights Reserved
Distributed by Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC

vol.13

うです。また、主人が健在であったとしても、例えば投資などの目的で託されたお金を使い何らかのビジネス展開で成功した奴隷が、その商売力を主人に認められて解放される、なんていうパターンも結構あったとのこと。

とにかく、「奴隷」という人間として認めてもらえないような最下層階級から解放された人達の生活の変化は、相当劇的だったことでしょう。『サテュリコン』のトリマルキオのような、しっちゃかめっちゃかな宴会を開きたくなる気持ちも、何となく判ります。

そもそも奴隷というのは、生き延びるための選択肢すら一切許されていない、実に不条理な状況下に置かれた人々です。自由への思いを募らせて、ついに解放の身となった奴隷達の喜びたるや、現代人である私達には想像もできないものだったと思われますが、同時に、彼らのほとんどが、ただ解放されただけでは満足しない「上昇志向」の塊でもあったのでした。そんな彼らの存在自体が、ローマ社会が繁栄していくための重要な活力になっていたと言われています。ローマにおける奴隷制度は、様々な意味で、社会の成り立ちや構造と切り離せないものだったのです。

しかし、どんなに商売で成功して大金を手に入れたとしても、どんなに素晴しい生活を実現したとしても、解放奴隷が絶対に手に入れられないものが、ローマ社会にはありました。それは「爵位」です。解放奴隷は、高貴な貴族や元老院議員になることは決して認められなかったのです。

今回のエピソードに「アウグスタレス」という組織が出てきますが、これは、そんな爵位を得ることのできない解放奴隷のサクセスビジネスマン達が、神

DVD発売中 定価(5,800円+税込)
20世紀フォックス ホームエンターテイメント ジャパン

聖化された皇帝アウグストゥスを崇めるために集まった組織です（ただしそれは地方限定で、ローマ市内では解放奴隷はアウグスタレスになれなかったらしい）。この組織のメンバーになること、つまりアウグストゥスを崇める神官に任命されることは、ローマ社会においては「騎士階級」に等しいほどであったと言われます。

アウグスタレスに関する記述は、文献から2500ほど見つかっているそうですが、先述の『サテュリコン』においても、トリマルキオはこのアウグスタレスのメンバーとして設定されています。

そんな彼らが皆、私が今回取り上げたような、トリマルキオを彷彿とさせるような派手な嗜好をもった人達ばかりだったかどうかは判りませんが、実際、イタリアのエルコラーノには彼らの集会所跡が残っていて、その壁には漫画の中で描いた「自分達の民衆に対する奉仕の記録が掘られた石板」が飾られています。集会所の内部にも立派なフレスコ画が残っていて、それらを見る限り、周囲と比べてもそこがかなり豪華で派手な建物だったのではないかと推測されます。

しかし、実は当時のローマは、ハッキリ言って全体的にキンキンギラギラだったので、その派手さ自体は必ずしもアウグスタレスの嗜好に限られたことではないのです。

私達は、今遺跡の状態で残っている白い大理石ベースの神殿やら彫刻しか知りませんが、実はそれらのほとんど全てに、もともとは彩色が施されていました。ローマ政治の中心地であったフォロに立ち並ぶ神殿群も、青やら赤の地に金色の装飾が施された物凄い極彩色だった事が、漆喰等に残る色素から判明しています。しかも、あちらこちらに飾られている

イタリア・エルコラーノに残るアウグスタレスの集会所

アウグストゥス像オリジナルバージョン

ローマの神や皇帝を模った彫刻も、全て金色の塗料で覆われているか、またはフィギュアみたいに人間っぽい着彩がされていたのでした。

確かに、当時の様々なヴィラ（屋敷や別荘）の跡を訪れると、ゴテゴテ魂を炸裂させたようなものがかなりあります。かと思うと、室内のタイルもフレスコ装飾も実に品の良い、見せ掛けよりも質を重視したような、ミニマリストでハイセンスなものもあったりして、現代に通じる美意識の高度な多様性が感じられます。

ハドリアヌス皇帝のヴィラも、残された床のタイルのデザインなどを見ていると、彼の洗練されたセンスがうかがい知れるのですが、先日、私の担当編集者・奥村勝彦氏から突然、「おい、大変やで!! ハドやん（編集長のハドリアヌスの呼び方）の作ったパンテオンが、全体ギンギンのキンピカゴールドだったってテレビで出とったぞ!! これじゃ皇帝ネロと同じ嗜好だったっちゅうことやんけ!?」という電話をもらいました。それを聞いた私も夫も、どうにも納得がいかず、手持ちの資料などを引っ張り出して調べてみたのですが、何を見ても「パンテオンが金色だったのは天井部分と照明のティンパヌス（三角形の空間に施された装飾）のみ」としか書かれていません。あの色彩感覚にうるさいハドリアヌスが、神殿を丸々ゴールドにしたとは若干考えにくいのですが、まあ、もしそうだったとしても周りが周りだけに、浮き立ち過ぎということは無かったことでしょう。

神々しさとパワーを象徴する色彩が「金」だということは、我らが太閤秀吉も含めて、古今東西全ての人類が認めるところなのかもしれません。

古代ローマ建築の大傑作、皇帝ハドリアヌスのパンテオン

金色に輝くハドやん

ますます平たい顔族との距離が縮まったルシウス!!一方、今イチ頼りないが、いないと困る助平男!!さあ、どうするルシウス!!

初出
月刊コミックビーム
2010年10月号～2011年4月号掲載

JASRAC 出1103437-101

ラテン語協力 Beppi Chiuppani

BEAM COMIX
テルマエ・ロマエ Ⅲ
2011年5月7日初版初刷発行

著者　ヤマザキマリ
©MARI YAMAZAKI 2011
発行人　浜村弘一
編集人　青柳昌行
編集　株式会社エンターブレイン　コミックビーム編集部
編集長・担当　奥村勝彦
装丁　セキネシンイチ制作室
発行所　株式会社エンターブレイン
〒102-8431　東京都千代田区三番町6-1
電話 0570-060-555（代表）
発売元　株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
本書の内容・不良交換についてのお問い合わせ先
エンターブレイン カスタマーサポート
電話 0570-060-555
○受付時間 土日祝日を除く 12:00～17:00
メールアドレス support@ml.enterbrain.co.jp
印刷所　図書印刷株式会社
Printed in Japan

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社エンターブレインから文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。
定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-04-727232-3